

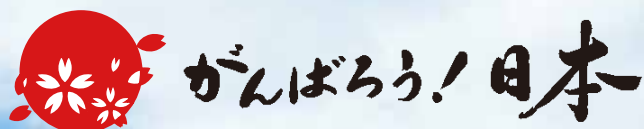
ANTA NEWS

vol.202

2012

1・2

january/february



巻頭特集 2012 新春特別対談 二階会長 × 程中国大使 日中国交正常化40周年の年を迎えて

年頭挨拶 二階会長・溝畑観光庁長官

シリーズ特集 観光復興に向けて
青森・茨城・千葉 三県の知事に聞く観光復興への取組み

新年のご挨拶
(麗水世界博委員長・韓国観光公社東京支社長・アジアナ航空副社長)

中国国家観光局(東京)首席代表 インタビュー

第219回 常務理事会

平成23年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施結果

2012 韓国麗水世界博会場を事前視察

「緑の重慶」植樹記念式典

支部だより(東海・近畿地方協議会、北海道・滋賀県・山口県支部)



ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION
社団法人 全国旅行業協会



十和田湖 (十和田市)



偕楽園 (水戸市)



白間津花畑 (南房総市)



屏風ヶ浦 (銚子市・旭市)

ANTA NEWS vol.202 2012年1・2月号 目次

巻頭特集 2012新春特別対談 二階会長×程中国大使

日中国交正常化40周年の年を迎えて 2~5

年頭挨拶 二階会長・溝畑観光庁長官 6・7

新年のご挨拶 三役・支部長・監事 8・9

シリーズ特集 観光復興に向けて

青森・茨城・千葉 三県の知事に聞く 観光復興への取り組み 10~13

新年のご挨拶 (麗水世界博覧会委員長・韓国観光公社東京支社長・アジアナ航空副社長) 14

中国国家観光局(東京)首席代表・張西龍氏インタビュー 16
国交正常化40周年 本格的な観光スタートの年に

第219回 常務理事会を開催 18

平成23年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施結果 19

「全旅協観光復興支援ポスター」JR東日本首都圏駅で大規模展開 19

「2012韓国麗水世界博覧会」会場を事前視察 20・21

「緑の重慶」植樹記念式典に二階会長を団長に50名が参加 22

第2回 日越友好音楽祭に会員等150名が参加 22

第26回 日韓観光振興協議会に参画 23

二階会長が「菜の花キャンペーン」を推進 24

「観光で復興を。」仙台シンポジウム 二階会長が基調講演 24

自治体・観光団体による旅行会社への助成金等情報 26

支部だより (東海・近畿地方協議会、北海道・滋賀県・山口県支部) 27~30

連載「適正な旅行広告作成のために」(第86回) 31

連載「添乗からのメッセージ」(第10回) 32

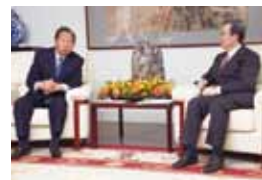
観光庁 主要旅行業者旅行取扱状況速報 33

連載「誰もが安心旅行実現のために」(第5回) 35・36

平成23年10月・11月 正会員入会者・退会者 37

(株)全旅からのお知らせ 38・39

パズルでひと息／全旅協の動き 40



新春対談 (二階会長と程中国大使)



麗水世界博覧会 事前視察



「緑の重慶」植樹記念式典



復興支援ポスター JR駅で展開



〈表紙の写真〉
「元朝桜と菜の花」
(南房総市・抱湖園)
旧暦の元旦の朝に花を咲かせることから名づけられた元朝桜。少し濃いめのピンク色をした約60本の寒桜が抱湖園に咲き揃う。一方、菜の花は千葉の県花。房総にはひと足早い春が訪れる。
〈画像提供〉
(社)千葉県観光物産協会

【ANTA NEWS】2012年1・2月号

発行元 (社)全国旅行業協会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F

発行日 平成24年1月1日発行

※本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

清水公園

全旅クーポン新規加盟しました。
「ANTANET登録番号30001955」



フィールドアスレチック (水上コース)



フィールドアスレチック (水上コース)



フィールドアスレチック (入口ひろば)



バーベキュー



フィールドアスレチック (ファミリーコース)



バーベキュー

要望を頂いておりました、
以下のセット料金を新設しました。

団体様向けバーベキューセット料金

お一人様分 2,200円

(20名様以上から1名単位にて賜ります。)

学校団体様向け飯盒炊さんセット料金

お一人様分 1,200円

(小・中・高等学校の40名様以上の団体様の御利用となります。)



交通アクセス

鉄道をご利用の方

東武野田線「清水公園駅」下車 西口より徒歩10分

次の各駅より東武鉄道野田線への乗り換えが便利です

■JR常磐線「柏駅」より 約30分

■つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」より 約20分

■JR東北・高崎線「大宮駅」より 約50分

■JR総武線「船橋駅」より 約60分

■東武伊勢崎線「春日部駅」より 約20分

お車をご利用の方

■常磐自動車道流山インター → 松戸野田道路経由 約12km

■常磐自動車道柏インター → 国道16号線経由 約12km

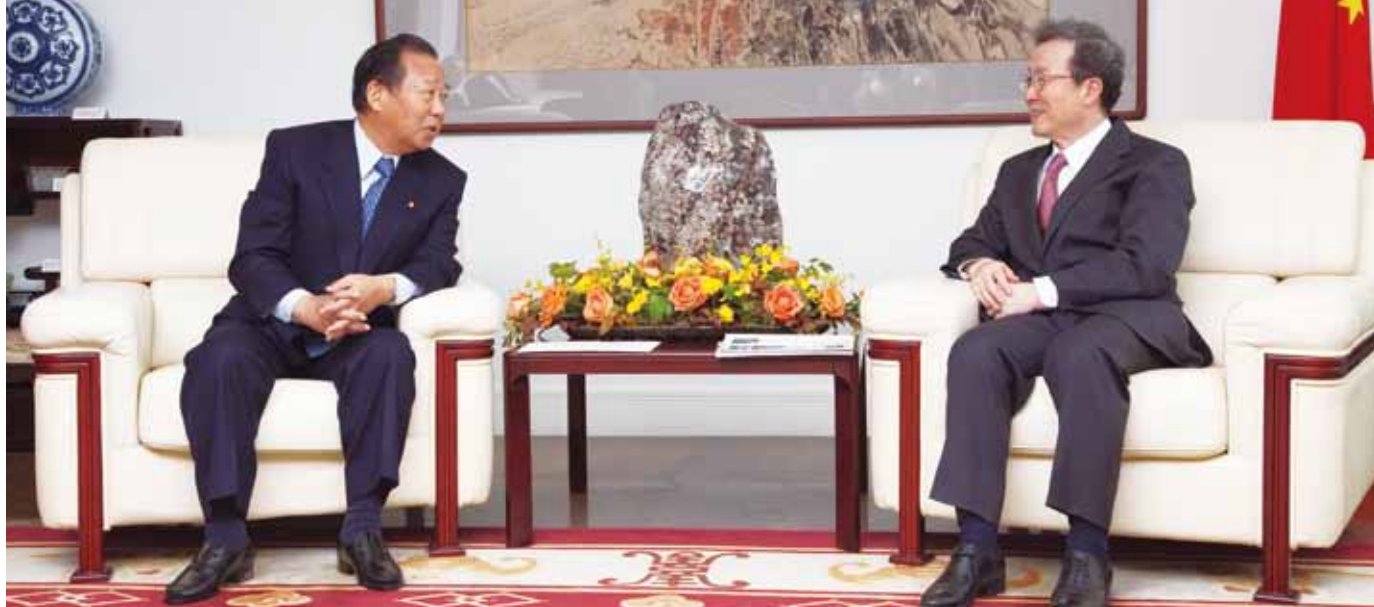
■越谷(国道4号線) → 野田街道経由 約12km

■春日部(国道4号線) → 国道16号線経由 約15km

※休日は混みあいますので電車をご利用下さい

お問い合わせ

株式会社千秋社 清水公園 〒278-0043 千葉県野田市清水906番地
TEL.04-7125-3030 FAX.04-7122-1670 ホームページ www.shimizu-kouen.com



二階会長と程中国大使との対談（東京・中国大使館にて）

ーをプレゼントしていただいた中国政府、海南島政府の皆さんに心から感謝しております。その際に日本の子どもたちがお世話になるばかりでなく、中国の青少年を日本に招待したいと話し、関係者で具体的な案を練っている最中です。日中国交正常化40周年という大変おめでたい年を皆でお祝いできるように、震災復興の思いも込めて、私ども観光業界が先頭を切つて努力して、本当の意味で40周年を祝えるように、しっかりとやっていきたいと思っています。

程大使 国交正常化40周年は大きな節目の年になります。この40年の間にはいろいろありましたが、特に人的交流の分野は大きく発展しました。40年前は中国と日本の双方での人的往来は約1万人でしたが、昨年は中国側の統計によると約570万人と大きく拡大しています。40周年をきっかけに、両国民の交流をさらに拡大し活発化して、親善関係、友好関係を深め、国同士も互恵関係が一層強化されることを期待しています。全国旅行業協会の二階会長をはじめ、皆様のご活躍を大いに期待しております。

二階会長 ありがとうございます。両国民の皆さんが協力しあうというのは本当に大事なことです。政府間の交流だけでは弱い部分もあるでしょう。日本は政党が変わったり、政権が変わったりしますからね。その時々で、熱が高まったり、冷めたりということでは困ります。友情



社団法人全国旅行業協会
会長

二階俊博

中華人民共和国
駐日本国特命全權大使

程永華

2012
新春特別対談

日中国交正常化 40周年の年を迎えて

国民レベルの交流を深めて
日中の友情を永遠に

二階会長 全国旅行業協会は、日本全国47都道府県の5600社の会員により構成しています。2012年は日中国交正常化40周年を迎える記念すべき年に当たりますので、当協会の機関誌「ANTANES」の新春号では、程中国大使との対談を是非ともお願したいとの要望があり、本日は大使がご多忙の中、お時間をいただきました。

程大使 二階先生とお会いするのは、昨年8月に中国政府が被災地の中学生100名を「心を癒す 海南島の旅」のタイトルで海南島へご招待したとき以来でしょうか。

二階会長 ええ。夏休みに100名も招待してくださって、子どもたちは大喜びでした。

程大使 中国側の被災地の皆様に寄せる気持ちの一つとして、また今後は中国と日本の国交正常化40周年の記念事業の一環としても、引き続き被災地

は永遠に、そして、穏やかに長く発展していくべきものです。

多くの人が楽しんで参加できる
40周年記念行事に

二階会長 2000年5月には5200人からなる「日中文化観光交流使節団」が訪中し、北京の人民大会堂で当時の江沢民国家主席、胡錦濤国家副主席（当時）をはじめとする国家指導者が出席した大々的な記念式典を行いました。その後も中国サイドの計らいもあつて、2002年に「国交正常化30周年記念日中友好文化観光交流事業」として、1万3000人の訪中団が北京を訪問し、交流式典に参加するとともに、八達嶺において1万3000本の記念植樹を行いました。さらに、2007年には「日中国交正常化35周年日中双方向3万人交流事業」を実施し、いずれも大きな成功を収めることができました。日中国交正常化40周年記念事業実行委員会は、実行委員長に米倉弘昌氏（経団連会長）、企画委員長に石川好氏（前秋田美術工芸短期大学長）、さらに、事務局長として北原巖男氏（前東ティモール大使）が準備をはじめています。基本コンセプトとして、都市間交流を活発化したいということです。日中の多くの都市に、これまでになくらい日中友好旅行団が相互に訪問することでしょう。

程大使 大規模な交流は影響が大き

く、両国の人々の記憶にも長く残っています。遡れば1984年に3000人規模の交流を行いました。当時の中国の受け入れ体制はホテルの数・バスの台数も含めて、それが限度でした。しかし、その後は二階先生が仰つたように、人民大会堂において、5200人、1万3000人の大会合が催され、受け入れ体制も整ってきました。当時私も自ら参加したことが記憶に残っています。

二階会長 その節は大変お世話になりました。40周年にあたっては、日中双方で考えて計画を立てることが重要です。ね。

程大使 これは一つのアイデアですが、40周年の記念行事として、40という数字にちなんだ、4万人単位の交流というのはいかがでしょうか。中国側から2万人、日本側からも2万人がお互いの国を訪れるというような、大衆参加型のイベントも素晴らしいですね。例えば、東北や九州など、日本各地に伝わる太鼓と、中国にあるいろいろな太鼓が競演したり、両国の有名な歌手に参加してもらうのもおもしろいかもしれません。中国なら北京工人体育场（多目的スタジアム）、日本側であれば東京ドームなど、広い会場に集つて、お互いに楽しみながら交流できるようなものができればいいですね。

二階会長 素晴らしいアイデアです。大使は大変な企画力をお持ちだし、演出家でもありますね。日本にも中国にも、両国の交流について熱い思いを持つ人が多くいるわけですから、その方たちと協

の方たちを中国にご招待する機会をつくりたいですね。いろいろな交流活動を通じて、心を癒していただき、若い人たちへの再建・復興の二つの力になればと思います。

二階会長 昨年は東日本大震災の後、いち早く5月に温家宝首相が東北の被災地へ自ら足を運んで、お見舞いくださいました。日本の国民全体に勇気を与えていただくと同時に、日本への震災支援の一環として、被災地の小中学生を中国へ招待するという計画を発表されました。その後、邵琪偉観光大臣が訪日され、海南島での交流が具体化し、今回の第一陣の出発になりました。仙台空港に集まったときの子どものたちの表情はやや緊張気味で不安そうでしたが、海南島では大変な歓迎を受け、だんだん元氣になり明るい笑顔になりました。本当に素晴らしい旅行でした。

程大使 このような交流が両国の子どもたちの気持ちが通い合う機会となりよかったですね。

二階会長 このような素晴らしいツア

力していくことが大事だと思います。今の大使のお話のような方向で考えていけば、いくらでも交流のやり方はありますよね。やはり心の交流の広がり的大事ですから。

程大使 本場にその通りです。

二階会長 日本と中国、両国民が皆で友好を深め、お互いに手を握って、アジアのリーダーとして世界を引っ張っていくことが必要だと思います。アジアでは中国と日本が頑張る以外にないんですよ。私は常々思っているんですけど、中国と



観光の豊富なコンテンツで心の通い合う交流を実現

程大使 二階先生は、2002年に国交正常化30周年記念事業で、訪中されたときに、八達嶺において1万3000本の植樹をしてくださいました。その木々が今はスクスクと育っています。

二階会長 ありがとうございます。その後10年経過したわけですから、成長の様子を見に行きたいと思っています。植樹は思い出に残りますからね。また、その場所に1万3000人の方々の名を

日本はお隣り同士なので、この間柄を大切にして、みんなで和気あいあいとやつていかなければなりません。スポーツ交流、文化交流、都市間交流など、やらなくてはいけないことは山ほどあります。

程大使 中国と日本の国民の間の交流というのは、これは国の関係の基本をなすものですから、とても大事なことです。その面で、両政府で努力して、例えば、さらに積極的なビザの取得要件の緩和などをすれば、交流はもっと深まると思います。

二階会長 日本全国の観光地でも中国の方々にお出でいただきたいという声が多いのです。かつては中国からの入国制限などもあり、私もそれに立ち向かってきました。大使には、当時はご苦労をおかけしました。今はあの頃に比べ、空が晴れたような感じです。

程大使 これからもお互いに力を合わせて、両国の関係を大きく推進するために努力をしていきたいと思っています。

「日中韓のトライアングル」でしっかり手を結ぶ

程大使 香港、マカオなども含めて、中国から海外旅行で出国する人の数は、毎年5700万人にも上ります。そのうち渡航先の1位が韓国、2位が日本になります。

二階会長 海外から中国に行く観光客の数はどの国が多いのでしょうか？

程大使 中国に入る観光客の数も、現

石に刻んでいます。いつか、子どもや孫がその地を訪れたときに、自分の親や祖父母がこの木を植えたということであれば、感慨もひとしおだと思っんです。

昨年10月末には「緑の重慶」建設キャンペーンへの協力の呼び掛けがあり、「緑の重慶」植樹記念訪中団の団長として、重慶を訪れました。日本からは約50名の同志が参加してくれ、日中友好の舞台にふさわしい蔡家中央森林公園において、小淵元総理が提案され設立にご尽力された日中緑化基金の協力により300本の銀杏（イチョウ）、桂花（キンモクセイ）、香樟（クスノ）の大きな木を記念植樹し、日中友好親善を深めることができました。また、この式典に重慶西南大学で日本語を学ぶ女子学生の皆さんが雨の中を参加してくれました。重慶は素晴らしく緑化運動が定着し、見事に成功しており驚きました。

程大使 観光と一言にいつても、そこに含まれるコンテンツはたくさんあります。青少年、文化、学術の交流など、さまざまな可能性を秘めています。ですから、これからいろいろなコンテンツを考えていきたいと思っています。

二階会長 私の地元の国立和歌山工業高等専門学校では、毎年「きのくにロボットフェスティバル」を開催し、今年で5年目を迎えます。中国と韓国からも学生を招待して、3か国での交流事業も軌道に乗っていました。

程大使 おもしろい試みですね。

在は韓国が一番多く、その次が日本です。先ほどビザの話も出ましたが、韓国の済州島が中国に対してビザがフリーになりました。それで一気に中国からの観光客が増えたのです。済州島に年間約54万人の外国人観光客が訪れるといわれていますが、中国大陸からの観光客が17万人を占めています。

二階会長 地理的にも近い、日中韓の3か国が「トライアングル」でしっかり手を結び観光交流で協力しあうことが重要になりそうですね。旅行者がこの3国を簡単に回れるような仕組みを考えれば、それぞれの国の地域で飲食や買い物など、旅行消費が期待され、地域経済への貢献と国民交流の具体的実践に大いに役立つのではないのでしょうか。

程大使 3か国間での交流というのも、今後、交流を拡大するためのいいヒントになりそうです。今は日本のビザがあれば韓国に数日間入国できることになっていますね。

二階会長 今年は韓国で麗水万国博覧会が開催されます。この万博を成功させることは、日本と中国にもメリットがあると思っています。例えば、さまざまな問題はあるかと思いますが、博覧会会期中、3か国共通のビザを発行するというのも一つの方法ですね。

程大使 済州島がよい例ですが、ビザがフリーになることで渡航しやすくなり、政策的にも温かく迎えてくれていると感じられるのだと思います。中国では、

二階会長 ぜひ一度、大使もご覧になってください。

程大使 一般の観光客だけでなく、中国から日本への修学旅行もかなり増えており、年間3万人近くに上るんですよ。これは両国の学校同士が姉妹校の提携をしている、あるいは旅行会社ベースで修学旅行専門の契約をしているというケースがあります。今後、中国からの修学旅行はさらに増えると私は予想しています。中国人の懐具合がよくなってきた、しかも一人っ子ですから、子どもがやりたいと言うことに親はノーとは言えません。

二階会長 日本としてもさらに受け入れ体制を整える必要がありそうですね。子どもたち、若い世代が国を越えて交流するというのは、非常に重要だと思います。小さい頃から仲良くしていれば、大人になっても心からわかりあえる関係が築けるはずですよ。

程大使 お互いの気持ちを通じる、心の通い合う関係をつくるのが大切ですね。

二階会長 それが一番大事なことです。そして、良い関係を築くための努力を続けていくことが重要ですね。今年は、記念すべき40周年事業を日中間の姉妹都市交流などを活用して大いに成功させたいものです。これからますます日中の友好関係を深めるために、ぜひ程大使のお力をお貸しください。本日は有益な対談の機会をありがとうございます。（了）

売上がよかった企業の奨励賞の賞品にも、済州島の旅行が多く使われているんですよ。日本では昨年7月から、沖縄を訪問する中国人個人観光客に対するマルチビザも発行されています。そのおかげで北京からのチャーター機が増えてきました。今ではホテルの部屋が取りにくいほど、人気が集まっているそうです。

二階会長 おもてなしと歓迎の心は本場に大切ですね。中国と韓国の間の観光交流が大きく伸びているのは、お互いにアットホームな心遣いがあって、旅行して楽しいからでしょう。日本でのおもてなしも、海外からのお客様だからときこちなくならないように、もっと洗練された外国人観光客の受け入れ方というところに、これから力を入れる余地があると思います。

程大使 日本人と中国人に共通するものは漢字です。街中のさまざまな標識が漢字で書かれているので、お互いにわかりやすいというのはメリットですよ。中国は簡体字ですが、見れば大体わかります。あと、これは二つの提案なのですが、日本のホテルのテレビに中国の海外向けの衛星チャンネルを入れてはもらえないでしょうか。宿に帰って、テレビで中国語の番組が放映されていると、それだけでほっとすると思うのです。

二階会長 なるほど、大変重要なことで参考になります。お互いに旅行者の気持ちになつて考えるサービスが大事ですよ。

日中国交正常化40周年を迎えて

2012年は日中国交正常化40周年の記念すべき年に当たります。

日中両国の関係は、一衣帯水の隣国同士であり、2000年を超える交流の歴史を有し、今や経済的にも大きく相互に依存し、また政治・外交的にも、隣国としての成熟の段階を迎えつつあります。

このような中で、全国旅行業協会は、JATAと協力し、日本政府とともに、日中国交正常化40周年記念事業の成功のために全力を尽くさなければなりません。

つきましては、会員の皆さまの積極的なご参加をいただき、本年の記念事業を成功させ、日中交流の新たな時代がひらかれますよう願っております。

社団法人全国旅行業協会
会長 二階俊博

新年のご挨拶

社団法人

全国旅行業協会

会長

二階

俊博



明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして実り多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。当協会は、会員の皆さま、関係の皆さまのご協力で日々躍進を続けております。皆さまのご協力に心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は、3月11日の東日本大震災の発生により我が国経済は甚大な影響を受け、景気の低迷の中で旅行業界も厳しい年となりました。9月の紀伊半島の災害も、ようやく12月3日にJ・R紀勢線が全線復旧し、復興に向けた取組みが懸命に進められております。

その中で、国内旅行は、現在は全国ペースでは回復基調にありますが、東北方面への観光旅行者数は風評被害の影響等によ

り依然厳しい状況が続いております。海外旅行は、震災後の需要低迷がしばらく続きましたが、円高傾向が大きく作用し、近場の韓国や中国などアジア方面は堅調が続いております。他方で、訪日外国人旅行は、震災直後から対前年比で減少が続いておりますが、少しずつ回復傾向にあり、昨年10月には下げ幅は1割台にまで回復しました。また、各国の外交当局による渡航自粛勧告も、次第に緩和の傾向にあります。

今回の震災からの「日本の再生」を図るためには、観光の振興によって地域経済を活性化させることも極めて重要です。このため、私たちは、昨年9月26日に宮城県仙台市において「東日本復興支援会議」を開催して、全会員・丸となつて風評被害の払拭と東日本地域への送客支援等に取り組むことを決議しました。その後も、復興支援のためのポスター、カレンダーを作成して全会員及び関係行政機関・団体等に掲示をお願いし、また、観光庁と共に、昨年11月から本年10月までの1年間、「東北・東日本観光復興支援キャンペーン」を実施しております。昨年10月19日に和歌山県田辺市で、当協会の近畿・東海地方協議会合同による「和歌山県奈良県三重県支援会議」を開催して頂きました。この会議の中で、復旧情報の発信、来訪呼びかけを図るための「元氣になつて紀州」ポス

ターの作成等の取組みが決議されました。厚く御礼申し上げます。

昨年11月下旬には、韓国麗水世界博覧会組織委員会の招請による事前視察研修が当協会と（株）全旅の共催で実施され、全国支部長、協会役員の総勢50名で視察して参りました。105か国が参加し、18のバビリオンが建設され、800万人の入場者が予定されています。当協会としても「2012韓国麗水世界博覧会」の成功のために送客支援に努めて参りたいと考えております。会員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。このほか、国際交流活動として、昨年10月に（株）全旅の主催で「第2回日越友好音楽祭ツアー」が実施され、会員を中心に全国から約150名の皆さまが応援にご参加いただき、主宰者の杉良太郎さんもたいへん喜んでおられました。

昨年を振り返ってみますと、私共の旅行業とは自然災害や社会の諸情勢等、いろいろなことに深い関わり合いを持つ産業であることをあらためて深く感じる年でした。今回の度重なる災害に屈することなく、団結の底力を発揮して、この難局を乗り越え、観光産業の発展が地域経済の活性化につながることを確信を持つて頑張つて参りたいと思っております。

一方、観光産業にとって追い風となるよ

うな嬉しいニュースもありました。昨年3月には九州新幹線が鹿児島中央まで全線開通となりました。また、東京スカイツリーの建設も順調に進んでおり、本年5月にいよいよ開業します。これからの日本の観光を牽引する新しい力として、そして、停滞する日本経済の起爆剤となるように期待しております。

観光庁においては、平成20年10月の発足から3年余が経過し、観光立国の実現に向けて国を挙げて取り組む体制が整つて参りました。観光庁は、今回の東日本大震災の被災地復興と人的交流の促進等を目的に、本年1月から来年3月までの15ヶ月間、東北地方全体を種の博覧会会場と見立てた「東北観光博覧会」を開催して、東北の観光振興を盛り上げる予定です。当協会としても、「東北東日本観光復興支援キャンペーン」を展開して、観光庁の政策と一体となつて事業を推進して参ります。

また、今年は、日中国交正常化40周年の記念すべき年です。昨年12月19日には、宮城県においてブレイベントとして「観光で復興を。仙台シンポジウム」が開催され、東北地方をはじめ、日本各地と中国との交流を積極的に促進することなどが決議されました。私も基調講演を行い、記念すべき40周年事業を日中間の姉妹都市交流などを活用して観光交流を二層促進することを提案しました。私たち観光業界としても中国との観光交流の発展に努めて参りたいと思っております。

ご存知のように、当協会は、平成25年4月を目的に一般社団法人へ移行するため、一般社団法人移行特別検討委員会を設置して、三役、地方協議会議長、（株）全旅などの構成メンバーにより検討・準備作業を進めております。円滑な移行を目指し全力で取り組んで参りますので、会員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

昨年4月には富山県において、地旅で観光立国の推進に貢献しようとの合言葉でANTA会員1300名が結集して第8回国内観光活性化フォーラムが開催され大成功を収めました。これに続いて、明年1月には、群馬県で第9回フォーラムが開催の予定です。本フォーラムは、地元ならではの観光素材を発掘して、全国の会員が共

同で送客する地旅（着地型旅行）を推進し、国内観光の活性化を図ることを目的としております。この当協会の最大のイベントを成功させるために、現在、地元開催地の群馬県支部と協力して準備を進めております。会員の皆さまの積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。観光が明るくなれば、世の中は必ず

明るくなります。これまで培ってきた旅行業界の長年の経験と英知を結集して、全国5600社の会員が一体となつて力を発揮し、会員企業の発展に努めたいと存じます。

年の始めに当たり、所感の一端を申し述べました。平成24年の皆さまのご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

観光立国の推進

観光庁長官

溝畑

宏



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、先の東日本大震災で被災された方々に対し、改めて、心からのお見舞いを申し上げます。

観光庁設置から4年目を迎え、全国的な観光振興の高まりを感じているところです。しかしながら、先の大震災は、被災した観光地に壊滅的な打撃を与えただけでなく、国民の自粛ムードや訪日旅行への不

安により、国内外の旅行者が減少し、全国の観光分野に深刻な影響を及ぼしました。大震災より減少した観光需要は、全国的には概ね回復してきたものの、東北関東の一部においては、依然、厳しい状況にあります。今後、被災地の復興が進めば、観光は被災から新生した地域を支え、さらに、将来の日本の成長を牽引する大きな柱になります。観光で日本を元氣にするという気持ちで、手に手を携えて、しっかりと取り組んでいかなければなりません。

観光は裾野が広く、地域経済の活性化、雇用機会の増大等による国民経済の発展への寄与、国民生活の安定向上への貢献、国際相互理解の増進といった様々な意義を有しています。このため、昨年6月に閣議決定した「新成長戦略」で、7つの戦略分野の一つとして観光立国の実現を掲げ、訪日外国人3000万人プログラム等を推進しています。

まず、訪日外国人旅行者数については、2010年に過去最高の861万人を記

録しましたが、先の大震災以降、状況が一変し、2011年3月（12日～31日）に前年同月比約73%減に至るなど深刻な影響を受けました。しかしながら、正確で海外消費者の目線に立った情報発信、海外メディアや旅行会社等への働きかけの強化等の取組みにより、予想を上回る早さで順調に回復しています。本年4月にはWTTTCグローバルサミットが開催されます。桜が咲き誇る最も素晴らしい時期であり、世界中に日本の元氣と魅力を発信する絶好の機会になります。

次に、国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを推進するため、2泊3日以上での滞在型観光ができる観光圏の整備や、市場との窓口機能等を担う観光地域づくりプラットフォームの形成促進を進めるとともに、旅行者のニーズに即したニューツーリズムの振興を図ります。

今後、大震災により落ち込んでいる東北地方への旅行需要の回復と新たな観光地づくりのモデル構築を図るため、東北

地方全体を博覧会場と見立て、地域や民間の様々な取組を連携させるとともに、統一的な情報発信等を行う「東北観光博」を実施します。

また、国内観光振興のためには、旅行しやすい環境の整備として「休暇改革の推進」も重要ですが、これは国民1人1人が有意義な休暇を過ごせる心豊かな社会への変化を促すものです。休暇を楽しむライフスタイルやワークライフバランスの実現などの「ライフスタイルイノベーション」に向け、最大限努力していきます。

また、震災の発生により一時中断していた「観光立国推進基本計画」の見直しについては、本年3月末までに結論を得て、閣議決定する予定です。今後5年間の観光行政施策の方向性を同計画で総合的に明らかにしてまいります。

観光立国の実現に向け、観光庁一丸となつて本年も尽力してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます
本年も会員の皆様と共に旅行業界発展のため 頑張ってまいります

平成24年元旦 社団法人 全国旅行業協会

三 役



会長
二 階 俊 博



副会長
徳 永 雅 典



副会長
加 藤 正 明



副会長
鈴 木 明 治



専務理事
有 野 一 馬

北海道地方協議会



北海道支部長
常務理事
和 田 雅 夫

東北地方協議会



青森県支部長
常務理事
折 館 公 彌



岩手県支部長
高 橋 幸 司



宮城県支部長
濱 田 保



秋田県支部長
佐 藤 武 義



山形県支部長
清 野 幸 男



福島県支部長
小 林 次 郎

関東地方協議会



茨城県支部長
理事
木 村 進



栃木県支部長
常務理事
國 谷 一 男



群馬県支部長
武 井 哲 郎



埼玉県支部長
浅 子 和 世



千葉県支部長
理事
齋 藤 忠 義

京浜地方協議会



東京都支部長
常務理事
青 山 能 久



神奈川県支部長
理事
坂 入 満



山梨県支部長
志 村 勇

北信越地方協議会



新潟県支部長
青 木 利 道



長野県支部長
滝 沢 博



富山県支部長
早 川 祐 一



石川県支部長
北 敏 一



福井県支部長
常務理事
平 田 龍 雄

東海地方協議会



岐阜県支部長
神 谷 利 夫



静岡県支部長
理事
勝 又 洋



愛知県支部長
常務理事
寺 井 一 俊



三重県支部長
山 出 良 一

近畿地方協議会



滋賀県支部長
常務理事
中 川 安 之



京都府支部長
岩 佐 光 夫



大阪府支部長
理事
永 野 末 光



兵庫県支部長
兒 島 武



奈良県支部長
中 川 宜 和



和歌山県支部長
小 倉 範 好

中国地方協議会



鳥取県支部長
真 山 得 治



島根県支部長
小 河 英 樹



岡山県支部長
常務理事
近 藤 幸 二



広島県支部長
花 岡 正 雄



山口県支部長
武 下 孝 司

四国地方協議会



徳島県支部長
大 谷 稔



香川県支部長
豊 田 学



愛媛県支部長
佐 伯 要



高知県支部長
常務理事
明 神 勲 生

九州地方協議会



福岡県支部長
森 岡 敏 夫



佐賀県支部長
村 山 輝 昭



長崎県支部長
岩 本 公 明



熊本県支部長
小 野 浩



大分県支部長
常務理事
高 橋 光 昭



宮崎県支部長
松 葉 藤 吉



鹿児島県支部長
中 間 幹 夫



沖縄県支部長
堤 朗

監 事



常任監事
塩 沢 貞 夫



監事
長谷川 晋也



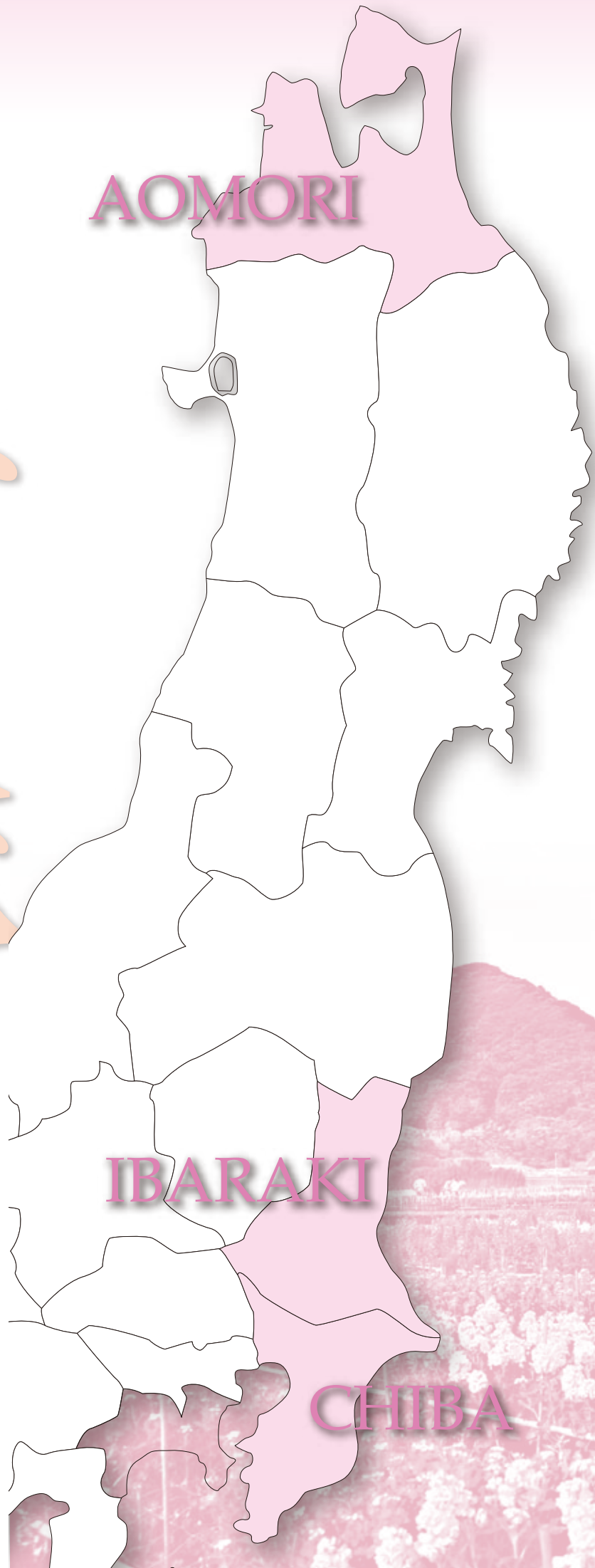
監事
酒 井 和 夫

青森・茨城・千葉三県の知事に聞く 観光復興への取り組み。

昨年3月11日の東日本大震災から9ヶ月余が経過。地震・津波、原発事故、それに続く風評被害。青森、茨城、千葉の三県にも少なからず被害がもたらされました。

前号特集の東北三県、岩手・宮城・福島県の知事メッセージに続き、今回は、三村申吾青森県知事、橋本昌茨城県知事、森田健作千葉県知事にご登場いただき、県内観光の状況や、観光復興への取り組み、旅行・観光業界へ発信するトップメッセージをご寄稿いただきました。

また、当協会の三県からは、折館公彌・青森県支部長、木村進・茨城県支部長、齋藤忠義・千葉県支部長が、支部の現況や復興支援への取り組みなどを語ります。



三村申吾 青森県知事

青森

交通ネットワークの整備が、復興への力強い後押しとなる。

全国の皆様には、東日本大震災以降、復興に向け多大なる御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、(社)全国旅行業協会の皆様には、本県観光の復興に対し、常日頃より御協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

さて、2010年12月の東北新幹線全線開業から、早いもので二年が経過しました。この間、日本を襲った東日本大震災は、全線開業を長年待ち望み、開業に向けハード・ソフト両面で準備を進めてきた青森県民にとって、あまりにも大きな障壁となりました。

こうした厳しい状況にあつて、震災からの一日も早い復旧・復興を願い、「東北の元氣、日本の元氣を青森から」という強い思いで、県民一丸となつて全力で取り組んだ結果、東北新幹線全線の早期復旧も相まって、震災直後は6割まで落ち込んだ観光客の入込数は、6月以

降はほぼ前年並みにまで回復し、青森ねぶた祭りをはじめとする夏祭りや、「全国高等学校総合体育大会」、「日本の祭りinあおもり」などの全国規模のイベントには全国各地から多くのお客様に御来県いただき、励ましのお言葉いただきました。

また、7月の青森名古屋便、10月の青森ソウル便の復活は、陸・海・空の交通ネットワークが整備された本県にとって、復興を後押しするものと大いに期待しているところであり、関係者の皆様方に改めて感謝申し上げます。今後とも、食、自然、エネルギーなどの本県観光のポテンシャルを存分に活かし、国内誘客を強力に図るとともに、経済成長著しい東アジアをターゲットに青森県の魅力を積極的に発信し外国人観光客の誘致も進め、交流人口の拡大を図ることにより、復興から更なる発展へ結び付けていきたいと考えておりますので、引き続きの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

観光Topics

【桜の弘前城】



日本屈指の桜の名所として名高い弘前公園には、ソメイヨシノやシダレザクラ、八重桜など約2,600本の桜が園内を埋め尽くします。りんごの栽培技術を生かした花芽が多い豪華な花が特長です。

■花見頃: 4月下旬～5月上旬

■問合せ先: 弘前市立観光館

TEL: 0172-37-5501

【春の十和田湖】



四季折々の美しさを見せる十和田湖ですが、コバルトブルーが新緑に映える春は特に美しい。湖岸沿いを遊歩道で楽しむもよし、遊覧船で湖上から眺めるもよし、カヌーで広々とした湖面を体感するのもおすすめです。

■問合せ先: 十和田湖総合案内所
TEL: 0176-75-2425

【天王神社のつつじ】



東北新幹線七戸十和田駅からほど近い七戸町の中心街にある天王神社では、約500本のつつじが咲き乱れ、夜はライトアップで幻想的な美しさに魅了されます。

■花見頃: 5月上旬

■問合せ先: 七戸町商工観光課

TEL: 0176-51-6100

青森県支部長に聞く



折館公彌 青森県支部長

東日本大震災では、早速にお見舞いをくださった支部や協議会、また、全国の会員の皆様から激励や義捐金を賜わり厚く御礼申し上げます。

県内では八戸市やおいらせ町などで、津波で漁船が道路に横倒しになるなどの大きな被害がありました。

当支部では震災直後、全会員にお客様の安否確認を行い、全ての無事が確認され、また、会員の被害状況も、床の亀裂やパソコンの転落破損等、軽微な損害に留まり安堵しました。

しかし、会員の報告では、いずれも旅行の中止や延期で仕事が無となり、支部会員の行く末を非常に案じました。このほか、受入施設の中で大きな被害を被った宿泊施設が多くあることから、昨年の支部役員会議では、協定協力会員の年会費免除を行いました。

先行き不透明の中、各支部会員が自助努力し、旅行取扱も回復しつつあります。全国の会員の皆様には、暖かい励ましのお言葉やお見舞いを賜わり、全国に仲間がいることをこんなに強く感じたことはありません。衷心より重ねて御礼申し上げます。



橋本昌 茨城県知事

偕楽園も復旧へ。東日本大震災に全力で打ち克つ。

東日本大震災における復旧、復興に向けて日夜ご奮闘いただいている皆様、またご支援いただいている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

東日本大震災により、本県の代表的な観光資源である偕楽園や弘道館、五浦海岸の六角堂などにも大きな被害が生じました。加えて、福島第一原子力発電所の事故に伴う風評により、本県の観光産業は深刻な影響を受けております。

こうした中、本県では、「がんばろう茨城」と銘打った物産展を県内外で開催するとともに、首都圏や茨城空港の就航先、さらには群馬県、栃木県など周辺県において観光キャンペーンを実施し、風評の払拭に努めております。また、9月と10月の2ヶ月間、県民向けに「いばらき再発見！秋の宿泊キャンペーン」、11月からは本県に宿泊をする団体向けに観光バスを無償で提供する「いばらき周遊観光促進事業」を実施し、大変好評をいただいているところでございます。

一方、海外からの観光客の誘致につきましては、外国人留学

観光Topics

【偕楽園】



金沢の兼六園・岡山の後楽園とともに日本三名園のひとつに数えられる『偕楽園』。江戸時代天保13年（1842）7月、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により、領民の休養の場所として創設されました。偕楽園には100種3,000本の梅が植えられ、かぐわしい早春を告げてくれます。2月下旬から3月下旬にかけての「梅まつり」を皮切りに、桜、つつじ、秋には萩、初冬には二季桜と、花々が園内に季節を届けてくれます。

問合先：（一社）茨城県観光物産協会 TEL：029-226-3800

【あんこう鍋】



茨城県の海岸沿いを中心とする地域は、あんこうの水揚げが多く、古くより「常磐沖のあんこう」として有名です。あんこう鍋は、あんこうを主な具材とする鍋料理を指し、皮、水袋、キモといったあんこうの七つ道具といわれる具材や、野菜、スープ（割り下）と一緒に鍋に入れて煮込んだ料理のことを広く「あんこう鍋」と称します。一般的に味付けは味噌仕立てか醤油仕立ての2種類で、あっさりとした風味のものが多くようです。味付けや具材などはお店によってそれぞれ違い、特に「あん肝」をどのくらい使用しているかによって、コクや旨味、風味が大きく変わります。この冬はぜひ、茨城であんこう鍋を食べてみませんか？

問合先：（一社）茨城県観光物産協会 TEL：029-226-3800



木村進 茨城県支部長

茨城県支部長に聞く

東日本大震災においては、茨城県も被災地となりました。全国の会員の皆様から義捐金、お見舞金をいただきましたことを、冒頭に御礼申し上げます。同時に尊い犠牲となつた皆様、東北3県をはじめとして大きな被害を被つた地域の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。茨城県支部としては、震災後県内最大の被災地となつた北茨城市に対し、会員および協定会員さらに全旅協本部並びに（株）全旅の協力を得て、タオルマスク等の被災物資と義援金をお届けし、復興のお手伝いを行いました。さらに、甚大な被災地区の東北3県については、会員による「復興ボランティアツアー」を始めとして共同募集による「がんばれ東北キッズイン」を実施し、県内各地区からお客様の送客を行つてまいりました。

また平成24年の茨旅協賛助会合同総会については新春早々に、福島県磐梯熱海温泉にて実施開催をいたします。

茨城県は、福島原発事故の隣接県ということもあって、その補償については、観光物産関連事業団体による協議会を立ち上げ、補償を求めた結果、先の国の中間指針により隣接県についても認められましたが、観光産業のみならず各分野においても売上低迷は続いているのが実情です。本県は12年前に県内の核燃料加工施設が臨界事故をおこし、その時も一時的な地域であるにせよ各産業の停滞がありました。しかし今回のような長期的な影響は初めてのことであり、そのダメージは大きなものになっています。

そこで風評被害による県内への観光客の激減を打破すべく、茨城県は観光客誘致のため「いばらき周遊観光促進事業」を実施することになり、貸切バスを無料で提供することになりました。全国の会員の皆様には、ぜひ茨城県にも足をお運びいただき、なほ一層のご支援ご協力をお願いいたします。



森田健作 千葉県知事

早春の観光キャンペーンを始め、積極的に千葉をアピール

社団法人全国旅行業協会におかれましては、日頃から旅行業の発展と公正な旅行取引の確保に向けて、幅広い取組を展開しておられることに深く感謝申し上げます。

さて、先の震災は、千葉県観光にも広範かつ深刻な影響を及ぼしています。夏の海水浴客数が前年と比べ半減するなど、震災と原子力発電所事故の影響により、千葉県への観光入込客は大きく減少し、今なお厳しい状況が続いています。

千葉県ではこうした状況から二日も早く回復できるよう、千葉県観光の魅力と元気を懸命にPRし、県内への誘客を図っています。

観光復興に向けた取組として、8月9月には「がんばろう千葉」観光優待キャンペーンを実施しました。県内主要観光施設等の無料入場券2万枚を作成し、首都圏を中心とする旅行会社の皆様の御協力を得て、県内に宿泊予約したお客様に配布するなど、多くの方々に御利用いただきました。こうした取組の成果もあり、千葉県観光には次第に明るい兆しも出てきています。

1月からは、早春の観光キャンペーン「きらきら房総 誰と行く？」を実施します。

観光Topics

【早春の観光キャンペーン】



早春の観光キャンペーン“きらきら房総 誰と行く？”を実施します。早春の房総は満開のお花畑、甘いいちごや新鮮な海の幸、温泉などきらきら輝く魅力に溢れています。ひと足早い春を見つけに、ぜひ、千葉県へお越しください。期間：平成24年1月1日（日）～3月31日（土）問合先：千葉県商工労働部観光課 TEL：043(223)2412

【いちご狩り】



1月から県内各所でイチゴ狩りが楽しめます。お花摘みが一緒にできる農園や車いすでも気軽に楽しめる農園があります。特に、東庄町では、子供の拳くらいのおおきさになるイチゴの王様「アイベリー」が大人気です。真っ赤に熟したイチゴはとってもジューシー！ぜひ、春の味覚を味わってください。問合先：千葉県商工労働部観光課 TEL：043(223)2412



齋藤忠義 千葉県支部長

千葉県支部長に聞く

3月11日の東日本大震災では、全国の多くのみなさまから多大なる義捐金、ご支援を賜り、本当にありがとうございます。

本県においては、東京ディズニーリゾートのある浦安などでの液状化や、旭飯岡地区の津波、東京湾の海苔養殖など、報道されていない被害も多くありました。

そのような状況の中、昨年3・4月からはもとより6月の旅行までが取消となるような状況で、この先いつたいていどうなるのだろうと不安感でいっぱいでした。まず、千葉県支部では各金融機関へ働きかけ、融資の優遇をお願いにまいりました。また、当協会の協会員さんとの会議でこれからをどう乗り切っていくかという前向きな意見が出され、千葉県らしく東北を応援しようということ、「みんなでガンバレ菜の花キャンペーン」と銘打ち、東北に行つていただいたお客様に菜の花を植えてもらい、菜の花を復興のシンボルにしようとして10月からがんばっています。

これからも、まだまだ厳しい状況は続くと思いますが、皆様の末永いあたたかなご支援をお願い申し上げます。



ヨニとスニ



新年、明けましておめでとうございます。

私は、韓国で今年の夏に開かれる国際博覧会、2012麗水世界博覧会の組織委員会委員長を務めております姜東錫と申します。新年にあたり、尊敬する全国旅行業協会の会員の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、2回に渡り2012麗水世界博覧会を説明する機会を頂き、ありがとうございました。さらに、11月には二階俊博会長をはじめ、一部の会員会社の方々に麗水まで足をお運びいただき、万博会場の工事現場を視察して頂きまいたことを改めまして御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災や原発事故により実に厳しい時期となりましたが、日本国民の知恵と団結で勇ましく乗り切っていると世界は評価しています。

日本や韓国の旅行業界も地球を襲う自然災害により大きく影響されています。旅行業は人類の平和と安寧に寄与する産業であり、国際博覧会は人類の平和と共存共栄を実現する世界のメガイベントです。最近、世界的な災いが地球温暖化など自然の破壊と深い関連性があることから、国際博覧会も先端技術や新発明品を披露する場から考え方を換え、愛知万博のように自然との調和と共存を強調する傾向にあります。

今年5月12日から8月12日まで、韓国の麗水市で開かれる「2012麗水世界博覧会」もこのような趣旨で人類の宝庫となる海洋をテーマにしています。同万博で、日本政府は地震や津波の被害を乗り切っていく過程と、未来の海洋に対する姿勢や意味を総合的に表現し、海洋に向けた日本の挑戦と未来のビジョンを提示します。海洋大国、日本の重要性、日本人の海洋に対する意識と文化が観客に伝わるよう努力しますので、皆様のご協力をお願いします。

日本から多くの観客にお越し頂き、麗水博で震災の痛みを癒し、新たな意欲に満ちる機会にして頂くことを願います。

本年が皆様さんとご家族にとって実り多く、健康で幸せな一年となりますよう心から祈念します。

2012麗水世界博覧会組織委員会 委員長 ^{カン} 姜 ^{ドン ソク} 東錫

新年あけましておめでとうございます。本年が会員の皆様にとりまして、希望に満ちた躍動の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は未曾有の大震災により、観光産業の面におきましても観光客が激減するなど、大変厳しい状況であったと思います。旅行というものは、外部環境などに大変敏感でありますので、特に昨年は訪日旅行が萎縮してしまったことを非常に残念に思っております。

私共と致しましては、日本の観光はとても安全であるという正確な情報を広く伝え、風評被害が発生しないよう協力をさせていただき所存でございます。日本には、世界に誇れる自然景観や温泉、伝統文化、食、ショッピングに至るまで魅力的な観光資源が豊富であります。これらの魅力が国内外の各層の消費者ニーズに答える旅行商品として造成され、一層拡大されることを期待しております。

また最近では、様々な要因により、日本の若者の旅行が減少傾向にあるといった話を耳にしますが、若者へ旅の意義を改めて解釈・認識してもらうためにも、体験型旅行の拡大など新しい旅行の魅力を見出し、旅行マーケットを活性化していく必要があると存じております。

韓国と日本の観光交流においては、両国民の相互交流1000万名時代を拓いていく基盤となる年になりますよう、私共は、皆様の活動に少しでもお役に立てるよう努力をして参りたいと存じます。ご存じの通り、韓国では本年5月12日から8月12日まで2012麗水世界博覧会が開催されます。日本から多くの皆様にお越しいただけますよう心を込めてお迎えする準備を整えておりますので、会員皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。次第でございます。

2012年は「辰」年です。龍は勇気と飛翔、希望を象徴し、力強い上昇の気運を表します。韓日両国民が一層楽しく両国間を往来出来るよう、韓日旅行業界関係者が協力し、新しい未来への固い土台を築いていく年となりますよう心より願っております。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

韓国観光公社 東京支社長 ^{キム} 金 ^{ヨン ホ} 栄湖



新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、ご存知の通り今年2012年は5月12日から8月12日までの3ヶ月間、韓国の麗水で麗水国際博覧会が開催されます。

アジアナ航空もオフィシャルエアラインとしてお手伝いさせていただきますので、より多くの日本人のお客さまに麗水を訪問して頂き、万博とともに韓国の新しい魅力を発見して頂ければと思っております。

また、アジアナ航空は昨年12月米・ビジネス旅行専門誌のグローバルトラベラー誌から2011エアライン・オブ・ザ・イヤーに選定され、2009年ATW誌・2010年SKYTRAX社に続き3年連続受賞という世界で初めての栄誉を頂戴致しました。

これからも、3年連続エアライン・オブ・ザ・イヤーの名に恥じない最高の安全とサービスを提供して参りますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご多幸を祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

アジアナ航空株式会社 取締役副社長 ^{ヒョン} 玄 ^{ドン シル} 東實

顧客満足は、迅速な対応から！

TR・NSで つながる業務

電子カルテで一元管理！ 各拠点、部署の カルテ、行程表の有効活用

旅行業営業支援ネットワークシステムTR・NSは行程表・見積書作成はもちろん
顧客管理、販売管理など、旅行業者様の業務をトータルにサポートいたします

旅行業者様、観光バス・貸切バス事業者様向け
システムラインナップ

旅行業システムSP バス運行管理システムSP



株式会社ブロードリーフ

プロダクト営業部 旅行営業課 ☎ 0120-47-2610

製品の詳しい説明や、
資料請求のお申込みは

トラベルルート

検索

中日国交正常化40周年 本格的な 観光交流スタートの年に

中国国家観光局（東京）首席代表 張西龍氏に聞く

2010年は140万人を超える中国人が日本を訪れた。昨年3月の東日本大震災後、一時は激減した訪日旅行者も復調の兆しを見せている。日中国交正常化40周年を迎える本年、日中観光交流の現状と今後の展望について、中国国家観光局（東京）首席代表の張西龍氏にお話をうかがった。

ますます増加する 訪日中国人旅行者

—— 昨年11月、5年ぶりに中国国家観光局（東京）首席代表に就任されましたが、抱負をお聞かせください。

この5年間で中国と日本の観光交流は大きな転換期を迎えました。以前は日本から中国への旅行者が圧倒的に多かったのですが、日本に来る中国人の数は徐々に増えています。中国人観光客は今後も伸び率の見込める、潜在力のあるマーケットとなったのではないのでしょうか。

昨年の東日本大震災は、中日の観光交流にとって大きな打撃となりました。その中で復興、さらなる振興には、私たち双方の知恵と努力が必要です。今回の日本駐在は、私個人も非常に大きな責務を負っていると自覚しております。引き続き、日本の皆様、二階俊博会長をはじめとする全国旅行業協会（ANTA）の皆様のご支援を得ながら、より一層努力をしていく所存です。

—— 日本の旅行業界では、中国人旅行者の増加へ期待が高まっています。

昨年には沖縄の数次ビザが実現し、その後個人のビザの条件も緩和されました。今後、訪日する中国人の数が、増えるのは間違いないでしょう。たとえば、中国沿海部（主に広東・上海・北京）の富裕層、大都市の女性層で日本に興味を持つ人が多くいます。この傾向は、内陸部にも広がり、訪日旅行者も増えています。

昨年は震災の影響で、一時的に訪日者数が激減しましたが、6月以降は徐々に回復して、10月には一昨年の同時期とほぼ同じレベルに達し、年末には北海道や沖縄への旅行の申し込みが増加しました。回復の傾向は続いており、今年もまた多くの旅行者が日本を訪れるはずだと。

日本の魅力を伝えるために もっと情報発信を

—— 中国からのお客様のために、日本のホテル・旅館、交通機関は何を改善すべきでしょうか？

日本の大都市の交通は非常に便利でありながら、とても複雑なので、中国語の表示を

充実させていただきたいですね。また、宿泊施設には温泉の入浴の仕方など、日本独自のルールやマナーを説明する表示があるとういと思います。日本の温泉に慣れて旅館に泊まる中国人が多いのですが、老朽化が目立つ施設も見られます。施設・設備の修繕はぜひお願いしたいところです。

それから、日本にはホテルをランク付けする制度がありません。中国ではランク付けを実施しているので、中国人からは日本のホテルのレベルが判断しにくいという声もあります。あとは食事です。刺身や寿司などの生ものにチャレンジはしても毎日となると……。日本にはおいしいお米があるのですから、温かいごはんとは一般的な日本食のおかずを提供すれば、中国人にとっては魅力ですし、評判もよいのではないかと思います。

もう一つどうしても改善してほしいと感じるのは免税制度です。消費税の5%の免税だけでなく、国際的なルールと同等の免税制度の導入を働きかけていただきたいですね。

—— 中国の方にとって日本で魅力を感じる観光地はどこでしょうか？

自然に対する関心度が高いので、富士山と北海道はやはり人気があります。富士山は日本の象徴ですからね。1970年代、中国では北海道が舞台の映画を上映していたので、40代以上の世代に北海道が人気です。雪景色や温泉、5月の花の満開の時期を体験したいという人は多いですね。

中国には寺院が多くあるので、京都や奈良は「お寺ばかり」と敬遠する人もいます。でも、日本のお寺は、美しい昔の姿を残していますから、実際に行った人は「見てよかった」という感想を抱くようです。中国文化の面影と、日本ならではの文化を同時に感じられます。中国に日本の魅力として、もっとアピールすべき部分だと思います。

ただ、日本の文化を中国人にわかりやすく紹介してくれるガイドの数が少ないと感じます。特に古くからの歴史・文化を伝承する街には、質の高いガイドが必要ではないでしょうか。日本の素晴らしさを発信するためにも、ガイドの教育には力を入れていただきたいと思っています。

大きな節目の年 さらなる中日の交流の発展を

—— 2012年は、日中国交正常化40周年に当たります。今後の日中の観光交流についてのお考えをお聞かせください。

大きな節目の年ですから、これを契機に中日双方の国レベルでの交流、また一般市民の交流を深め、大きく発展させなければなりません。40周年では、中国と日本のさまざまな地域の交流ができればと考えています。中国の省・市・自治区、日本の都道府県レベルでの観光局長の対話も実現させたいですね。観光交流の促進や具体的な問題の解決のための、大きな会合を開催したいと考えています。

それから、大きく推進したいのは両国の未来を担う青少年の交流です。教育旅行を中心とする青少年の交流は非常に大切だと思っています。あとは、友好都市、姉妹都市の交流を活性化すること。一般の市民の交流こそ、日中友好の将来の基礎になりますので、より一層推進していきたいと思っています。ANTAの皆様のお力を拝借して、中日両国のガイドの外国語のレベルの向上、また両国の文化を深く知ることができるようなイベントも推進したいと思っています。

—— 日本の旅行業界、および旅行会社へのご要望がありましたらお聞かせください。

中日観光交流の本格的なスタート、より一層の交流の規模の拡大には、これまで以上にきめ細かな情報発信が必要ではないでしょうか。日本には魅力的な観光商材がたくさんあります。社会のシステム、個性的な文化、自然環境、食事、電気製品……など、これらすべてが日本のよさです。自信を持って、もっと大々的に中国に宣伝すべきだと思います。

中日観光交流の先駆者である二階会長をはじめ、ANTA会員の皆様には、今後も両国の観光交流に、より一層のお力添えをいただければと思います。また、多くの皆様が研修や視察で中国にお越しくださることを願っております。私たちもANTA会員の皆様に大いにバックアップさせていただくことを約束します。

平成23年度 国家試験 実施結果

試験地	受験区分	申込者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
北海道	一般	699	639	252	39.4
	免除	39	39	27	69.2
	計	738	678	279	41.2
岩手県	一般	605	547	210	38.4
	免除	27	26	7	26.9
	計	632	573	217	37.9
埼玉県	一般	1,112	974	314	32.2
	免除	63	62	26	41.9
	計	1,175	1,036	340	32.8
東京都	一般	5,770	4,991	1,914	38.3
	免除	255	241	116	48.1
	計	6,025	5,232	2,030	38.8
神奈川県	一般	659	574	160	27.9
	免除	26	26	14	53.8
	計	685	600	174	29.0
愛知県	一般	1,763	1,557	575	36.9
	免除	108	103	55	53.4
	計	1,871	1,660	630	38.0
大阪府	一般	3,248	2,842	949	33.4
	免除	125	121	71	58.7
	計	3,373	2,963	1,020	34.4
岡山県	一般	674	559	172	30.8
	免除	47	45	27	60.0
	計	721	604	199	32.9
福岡県	一般	1,516	1,337	383	28.6
	免除	75	71	38	53.5
	計	1,591	1,408	421	29.9
沖縄県	一般	274	239	66	27.6
	免除	6	5	1	20.0
	計	280	244	67	27.5
全国集計	一般	16,320	14,259	4,995	35.0
	免除	771	739	382	51.7
	総合計	17,091	14,998	5,377	35.9

平成23年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施結果 5377名が国内管理者資格を取得・合格率は35.9%

当協会が観光庁長官の試験事務代行機関として昨年9月11日(日)に全国10地域(都市)で実施した平成23年度国内旅行業務取扱管理者試験の合格発表が10月28日(金)に行われた。

本年度の国家試験は、受験申込者1万7091名(一般受験申込者1万6320名、一部免除申込者771名)で、試験当日の受験者数が1万4998名(一般受験者1万4259名、一部免除者739名)となり、こ



大阪・関西大会場

《第219回常務理事会》 一般社団移行後の組織・支部受皿組織 平成24年度事業計画骨子案等を協議

第219回常務理事会が平成23年11月17日(木)正午より全旅協本部会議室で開催され、会議の冒頭、徳永副会長より開会挨拶がなされた。

報告事項として、本部事務局報告、地方協議会報告、委員会報告が行われた。

本部事務局報告では、最近の活動状況として、①日中国交正常化40周年記念事業実行委員会第1回委員会への出席、②重慶市交流ツアーへの参加、③観光庁観光産業課長への所管事項説明、④「元氣です！和歌山・奈良・三重！メッセージ」の発信、⑤「元氣です！和歌山キャンペーン」への協力、⑥全旅協観光復興支援ボスターのJ.R.東日本首都圏主要駅及び同社管内新幹線駅への掲

出、⑦トルコ東部大地震に対するお見舞い、⑧第3回標準旅行業約款見直し検討会への出席、⑨第12回WTTCグローバルラベル&ツーリズムサミット日本組織委員会第3回会合について、それぞれ報告がなされた。

地方協議会報告では、各協議会での会議報告及び最近の活動状況等について報告がなされた。

引き続き、委員会報告では各委員会での協議事項等について、以下のとおり報告された。

〔試験研修委員会〕11月8日(火)開催…①平成24年度試験研修事業骨子、②国家試験に関する質問事項、③試験研修実務小委員会規程の見直し

〔総務財務委員会〕10月14日(金)開催…①常任委員会の活動内容、②一般社団法人移行後の地方協議会に替わる組織、③一般社団法人移行後の常任委員会委員の選出方法、④特別会計の構成と収支状況

〔指導調査広報委員会〕中間報告…①紀伊半島元メッセージボスター、②全旅協観光復興支援ボスター(観光庁後援名義)の制作

〔一般社団法人移行特別委員会〕10月26日(水)開催…①一般社団法人移行後の組織に関する検討結果、②一般社団法人移行後の支部の受皿組織

このほかの報告事項では、滋賀県警による不正薬物「運び屋」防止強化対策への滋賀県支部の協力活動について報告された。

協議事項では以下のとおり協議された。

1. 平成24年度事業計画骨子案
来年度における各事業の計画骨子が提案され、原案どおり承認された。今後、本骨子案に基づき、各委員会において来年度事業計画を策定していくこととされた。

2. 一般社団法人移行後の組織及び支部受皿組織の検討
一般社団法人移行後の支部の受皿組織について、10月26日開催の第2回特別委員会での協議を踏まえ、営利を目的とした株式会社組織でなく、公的な一般社団法人格を取得した組織とし、将来的には組織名称を統することが望ましいとの見解を示した。また、移行後の会議名称として、現行の

支部長会議を「支部長連絡会」、地方協議会を「地方支部長連絡会」、常務理事会を「地方代表者連絡会」とし、位置付けとしては本部三役会に直結することが提案され、原案どおり承認された。

3. 第9回国内観光活性化フォーラムの本部実行委員会構成
平成25年1月23日・24日に群馬県前橋市で開催される第9回国内観光活性化フォーラムの本部実行委員会のメンバー構成について提案がなされ、原案どおり承認された。

審議事項では以下のとおり審議された。

1. 試験研修実務小委員会規程の改正

標記規程について、試験研修委員長が小委員会に出席し小委員会での検討事項を試験研修委員会に報告することなどの改正が提案され、原案どおり承認された。

2. 新規入会申込者
新規入会申込者として、条件なし入会2支部3社、条件付き13支部20社、賛助会員1社の入会審議がなされ、原案どおり承認された。

このほかの審議事項では、東海地方協議会より、全旅協旅行災害補償制度での会員倒産時における対応の見直しについて意見が出され、今後、経営推進委員会で協議することとされた。

全旅協観光復興支援ボスター J.R.東日本首都圏駅で大規模展開

当協会では、昨年11月3日から9日まで「がんばろう東北！がんばろう東日本！」をメインメッセージにした「全旅協観光復興支援ボスター」をJ.R.東日本の首都圏主要124駅及び同社管内の新幹線48駅で掲出展開を行った。

このボスターは、昨年9月に宮城県秋保温泉で開催された「東日本観光復興支援会議」で、東北・東日本地域への送客支援、風評被害の払拭等の決議に基づき



上：水道橋駅／下：飯田橋駅



麗水博委員会主催の晩餐会で挨拶する姜博覧会組織委員長

ス名が掲げられているだけで、建物内部の造作は今後となっており、展示のイメージをつかめなかったが、担当者の説明では、日本が博覧会への出展を世界で最初に表明したことから、日本館はロケーションで優先権が与えられ、一番良い場所にあるとのこと。

なお、日本館は1000平方メートルのブースを使用し、3つのゾーンに分け、それぞれ展示や映像を駆使して海と共に生きる日本の姿や技を紹介、また、東日本大震災と津波で経験した自然の驚異をレポートし、復興・再生に向けて歩む姿勢を世界

にアピールするとともに、世界からの支援に対する日本と日本人の感謝を発信する予定。さらに、公式参加国を歓迎する特別行事の日として、会期中には「ナショナルデー」が設けられる。日本のナショナルデーは6月2日の予定で、この日に合わせて大型練習帆船「海王丸」が麗水へ寄港するなど、各種盛りだくさんのイベントが計画されている。

会場視察後、噴水が美しい市内の公園を視察し、その後、韓国観光公社主催による歓迎昼食会が開催された。午後は、太陽に向かう寺という意味の「日向庵」を視察し、ここは、韓国の四大観音祈祷道場の一つであり、絶景が素晴らしいところである。入口の参道から頂上までは、大変急な階段が長く続き、また岩と岩の隙間の細い道もあり大変苦労したが、達成感と頂上の景色に感動を覚えた。

同日夕刻には、麗水世界博覧会組織委員会主催の歓迎晩餐会が開催され、姜東錫組織委員長が歓迎の挨拶を述べられた。続いて、二階会長が登壇し、今回のANTA視察団の招待に対して謝意を示すとともに、経済産業大臣の在任中、省内に麗水世界博覧会の推進

室を設け、日本語と韓国語を併記した部署名の看板を掲げたエピソードや、今回の訪問でマッコーリ500本を購入したことなどが披露された。また、愛知・上海・麗水とアジアで万博を連続開催できることは、大変な名誉であり、アジアの人々が立派に仕上げる責任があり、麗水万博を成功させるためにその一点で取り組んでいくとの決意が語られた。このほか、今回の麗水万博に多く送客した会員会社には、姜委員長とともに記念トロフィーを贈呈したいとの発案がなされ、出席者の拍手を浴びた。また、有野専務理事より、当協会が昨年9月から展開している「全旅協観光復興支援ボスター」に同博覧会の告知を併

せて行いPRに努めていることが説明され、麗水博覧会関係者から感謝を受けた。

最終日の26日は、午前中にラムサール条約に登録されている順天湾の葦の茂った湿地帯を船で視察後、麗水空港からソウルに戻り、金浦と仁川の両空港に分かれ帰国の途に就いた。



当協会ポスターでの麗水博覧会PR活動を説明



麗水市主催晩餐会で挨拶する二階会長

韓国麗水世界博覧会組織委員会の招請による同博覧会の事前視察ツアーが平成23年11月24日(木)～26日(土)、当協会と(株)全旅の共催で実施された。この視察ツアーには、当協会の二階会長をはじめ、徳永副会長、加藤副会長、鈴木副会長、有野専務理事、(株)全旅の池田社長、大原副社長、兒島副社長など、当協会の役員及び支部長ほか総勢50名が参加した。

「2012韓国麗水世界博覧会(EXPO2012 YEOSU)」は、本年5月12日(土)～8月12日(日)の93日間、「生きている海、息づく沿岸」をテーマに、韓国の全羅南道麗水市で開催される。11月24日現在で、参加表明しているのは、105カ国、9国際機関で、18のバビリオン、800万人の入場者数を目標とする。展示総面積は25万平方メートルで、会場では、水上ステージや韓国館、国際館、テーマ館、気候環境館、海洋生物館のほか、国際客船ターミナル、ホテルなどが設置される。会期中は、KPOPなどさまざまなショーが予定され、巨大なパイプ

韓国麗水世界博覧会を事前視察 二階会長を団長に50名が参加

オルガンの演奏、スカイタワーなども目を引くことになる。

視察ツアー参加者は24日、各空港(成田、羽田、大阪、中部、福岡)からそれぞれ出発し、ソウルの金浦空港で合流、便を乗り換え約1時間で麗水空港に到着した。夕刻、宿泊先の麗水シティ

パークホテルで麗水市主催の歓迎晩餐会が開催され、この挨拶の中で二階会長は「麗水万博を通じて、日本と韓国の関係の更なる発展を図っていこう。この万博を成功させるには、双方の努力が必要である。今後とも万博の成功に向けて全力を尽くそう」と層の奮起を促した。

翌25日午前、全員ヘルメットを着用し、工事中の博覧会会場を視察した。日本館は入口にブー



造作中の日本館のブース内部を視察

『緑の重慶』植樹記念式典訪中団 二階会長を団長に50名が参加

二階俊博会長を団長とする『緑の重慶』植樹記念式典訪中団50名が平成23年10月29日（11月1日、（株）全旅の主催で中国重慶市を訪問し、林幹雄衆議院議員、三ッ矢憲生衆議院議員（株）全旅池田社長、当協



記念式典で挨拶する二階会長

会の有野専務理事ほかが参加した。現地では在重慶総領事館の積極的な協力を得て、また、北京からは在中国日本国大使館公使にもご同行いただき、有意義に日程を終了した。

31日午前には、『緑の重慶』植樹記念式典が行われ、小雨の降る中、重慶市民の新しい憩いの場であり、日中友好の舞台にふさわしい「北培区蔡家崗中央森林公園」に300名を超え、人々が参加した。



植樹記念式典の様子

社である重慶長安鈴木自動車有限公司の工場の視察グループ、重慶市中小企業局等の重慶市との意見交換グループに分かれてそれぞれ行動した。重慶市との意見交換グループでは（株）商工中金の杉山副社長が重慶市中小企業局を、（学）日本体育会の松浪理事長が体育局を、（株）全旅の池田社長が旅游局をそれぞれ訪問し、精力的な意見交換がなされた。

第2回日越友好音楽祭に 会員など150名が参加



国際交流活動として「第2回日越友好音楽祭ツアー」が平成23年10月8日（土）～11日（火）、（株）全旅の主催で実施され、当協会会員を中心に全国から150名が参加し、ベトナムの首都ハノイ市内の会場となったオペハウスを訪れた。

「第2回日越友好音楽祭」この平和を夢みて（主催日越友好音楽祭実行委員会、後援：日本国外務省、経済産業省、観光庁ほか）は、日越両国の文化交流などを目的としてベトナムへ



援を」というテーマも加味されており、会場は満員で多くの市民の熱気にあふれ、国営テレビ局も生放送を行った。また、会場周辺にも多くのハノイ市の青少年が詰めかけ、日本のアーティストの来訪に歓声を上げていた。

の福祉支援活動を22年間も続けている俳優の杉良太郎さんが本音楽祭実行委員会会長を務め、日本からは、杉良太郎さんをはじめ、歌手の伍代夏子さん、AKB48、winds、AAA、倅田来未、EXILEのアイドルアーティストのほか、ベトナムからも有名アーティストが出演した。

今回は、昨年3月の東

第26回日韓観光振興協議会に参画 両国の観光振興の拡大に向け4施策を確認

第26回日韓観光振興協議会が平成23年12月2日（金）、韓国・テグ広域市のテグランドホテルで開催された。

この協議会は、昭和60年8月の日韓定期関係会議の合意に基づき、日韓の観光交流人口の拡大と観光分野での連携の強化を目的に昭和61年から毎年開催されているもので今回26回目を迎える。



第26回日韓観光振興協議会

代表は日本側が観光庁の山田尚義審議官、韓国側は韓国文化体育観光部の慎庸彦観光産業局長が務め、両国の政府及び観光団体関係者など64名が参加のもと開催され、当協会から有野専務理事が出席した。

今回の会合では、日韓の観光交流促進に関する諸問題や同協議会の改善方策を論議がなされ

た後、両国観光当局間で、①日本観光回復及び今後の類似状況での相互協力、②2012年日韓観光交流の促進に向けた協力、③日韓観光振興協議会を通じての地方観光交流の拡大への取り組み強化、④次回協議会開催の4施策からなる確認文書が取り交わされた。

当協会からは、「韓国麗水世界博覧会」について、「全旅協観光復興支援ポスター」の一連の大規模展開等を通じて積極的に告知したことが発表された。

ブックレビュー



観光進化研究所代表 小林天心・著

『国際観光誘致のしかた』

インバウンド・ツーリズム振興の基本

旅行・観光業界で働くすべての方に読んでほしい1冊です。今、なぜインバウンド（外客誘致）が必要なのか？魅力ある商品としての観光地域の作り方とは？観光マーケティングの鍵を握る販売促進とは？本書は、具体的な方法論をまとめた「旅行業の教科書」です。

■インバウンド・ツーリズムの基本を学べる本書と、アウトバウンド（海外への旅行）の商品企画とマーケティングをまとめた前著『旅行企画のつくりかた』は、旅行業界人必読のマーケティング・テキストです。（2011年10月下旬発行・全268ページ・B5判・1色）

■ご注文・問い合わせ先／株式会社虹有社（こうゆうしゃ）
〒112-0011 東京都文京区千石4-24-2-603 TEL.03-3944-0230 FAX.03-3944-0231
<http://www.kohyusha.co.jp>

全旅協生命共済制度医療保障プラン 加入キャンペーンのお知らせ

会員の皆様向けの福利厚生制度「全旅協生命共済制度医療保障プラン」の更新募集（年1回）が2月中旬から始まります。保険始期は、平成24年6月1日です。パンフレット・申込書は会員様向け2月中旬に発送。

- 多くの皆様が加入することで、より保険料が割安になる団体型の医療保障保険です。
- 当制度は、不慮のケガや病気に対し、入院や手術を保障する医療保障プランであり、特徴と致しまして、無配当で割安な保険料で1泊2日の入院から保障され、手術給付金は無制限で何度も給付金を受取る事ができます。さらにオプションプラン加入で、生活習慣病や三大疾病（ガン・急性心筋梗塞・脳卒中）に手厚い保障で備えることができます。

当制度にご理解を賜り、是非この機会にご加入をご検討いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

■引受保険会社（事務幹事） 三井生命保険株式会社 公法人営業部 TEL.03-6831-8841

東京観光はもちろん、バスツアーなら

「安心」と「感動」を笑顔にのせて...

第3代イメージガール 平田 葉津美

はとバス

コースのご予約は **TEL.03-3761-1100**

団体でのご利用は **TEL.03-5777-0695**

ホームページからの予約も受付中! <http://www.hatobus.co.jp/>

株式会社はとバス

東京都知事登録旅行業第2-2379号
〒143-8512 東京都大田区平和島5-4-1

2階建てバス

2階建てバスの屋根部分を切り取った「O Sola mio(オー・ソラ・ミオ)」が好評運行中!!
車高3.8メートルから見る360度の景色は開放感があり、風や木々の色づきなど季節感を肌で感じることができます。新しい東京がきっと見えてくる旅です!!

Airserve

大切なお客さまだからこそエアサーブにお任せください

センディングサービス ミーティングサービス トラベルイヤホンレンタルサービス

お問い合わせ先 **株式会社エアサーブ**
全国旅行業協会 賛助会員・東京観光財団 賛助会員

東京営業支店 **TEL 03-6745-8230**
近畿営業支店 **TEL 06-4795-5795**
営業時間▶平日 9:30~18:30 (土曜・日曜・祝祭日休み)
<http://airserve.co.jp/>

空港の専用カウンターにてお客さまの各種手続きをサポート。不測の事態に対応する緊急アシスタントサービスもご利用いただけます。

日本全国の空港はもちろん、駅、港、ホテルなどへ大切なお客さまをお出迎え、ご指定場所までご案内いたします。

室内、野外を問わずクリアな音声でガイドの説明を、お客さまの耳へ届けるトラベルイヤホンを貸出いたします。



レインボーブリッジと屋形船の夜景



スカイデッキ船



秋の品川大名グルメプラン



冬の品川中金グルメプラン

東京都・品川区

屋形船 中金

粋な江戸前屋形船で隅田川・東京湾・お台場を満喫!

季節によって趣きが異なる東京湾を、江戸情緒あふれる屋形船で周遊。お台場やレインボーブリッジの夜景など東京を観光するにはぴったりです。隅田川でのお花見や、夏の花火大会はもちろんです。オールシーズン各種イベントにもご利用ください。食事は板前がつくる会席料理。2名様から乗船できる乗合船就航、無料送迎バスあり。

【施設内容】スカイデッキ付きの大型船2隻。掘りこたつタイプあり。冷暖房・洋式水洗トイレ・毎月データ更新している通信カラオケ(ビンゴゲームあり)完備
【周遊コース】通常コース品川浦→天王洲アイル→東京港(レインボーブリッジ)→お台場→隅田川→品川浦→天王洲アイル→東京港(レインボーブリッジ)

隅田川→東京港→天王洲運河→品川浦
【ご予約】貸切船15名様(70名様最大140名様可能)乗合船2名様(出船日に限定あり)出船時間10時~19時30分 ※乗船時間はおおむね2時間半 年中無休
【お料理】お刺身の盛り合わせ、江戸前天然魚、揚げ(海老、穴子、さつま、いか、季節の野菜)、箸付け(前菜3種)、煮物、焼物、香の物、焼物、御飯デザート※冬期は鍋のサービスあり ※素材はすべて旬のもので、サイドメニューあり、詳細はP.2で
飲み物 生・瓶ビール(日本酒・燗) 焼酎(麦・芋) サウナ類 ワイン、ウイスキー、ソフトドリンクなど
【料金】中金グルメプラン10,500円税込、小町グルメプラン13,650円税込、大名グルメプラン15,750円税込 ※3プランとも飲み放題つき 松花堂ランチプラン¥7,350円税込、ワンドリンクのみ
【送迎バス】20名様以上の貸切船へのサービスです。お迎えは当店から30分圏内、お送りは品川駅となります。詳細はお問い合わせください。
■交通のご案内: 京浜急行北品川駅下車 徒歩3分 JR品川駅下車 徒歩10分
■住所: 〒140-0002 東京都品川区東品川1-1-17
TEL 03(3471)4531
FAX 03(3740)4646
WEB <http://www.nakakin.com/>

日本を明るく復興のシンボルに
二階会長が「菜の花キャンペーン」を推進

東日本大震災の復興のシンボルとして、二面に咲き誇る黄色い花は人々の心を明るくし勇気を与える。

当協会の二階会長は昨夏、自らが出来たことは何でも進んで取り組むべきとの思いから、「ひまわりキャンペーン」を提唱し、アタリヤ農園(千葉県香取市)の寄

二階会長が基調講演
「観光で復興を。」仙台シンポジウム
〜日中国交正常化40周年に向けて〜

「震災復興 観光推進国民会議」(西田厚聰会長・(社)日本観光振興協会会長)の主催により「観光で復興を。仙台シンポジウム」が昨年12月19日(月)、仙台市の電力ホールで開催された。

この国民会議は、東日本大震災からの早期復興と日本の成長戦略の柱としての観光復興を目指すため、経済界と観光業界が一体となり発足され、まず第一歩として2012年の日中国交正常化40周年を迎えるにあたり、日中間の相互交流の拡大を通じ震災復興と観光復興を同時に達

成するための礎を築くべく、同シンポジウムが開催された。

シンポジウムでは、(社)日本観光振興協会の西田厚聰会長の主催者挨拶に始まり、来賓挨拶では、韓志強中国駐日臨時代理大使、村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長、日本政府観光局の松山良理事長、東日本旅客鉄道(株)の大塚陸毅取締役会長が登場した。

引き続き、当協会の二階俊博会長が「日中観光交流の回顧と展望」と題して基調講演を行い、記念すべき40周年事業を姉

て、ひまわりの花写真コンクールや絵画展等も開催されるなど、全国に協力の輪が広がっている。また、全国から集まったひまわりの種を東北へ蒔きに行くという構想もある。

今回の「菜の花キャンペーン」で二階会長は「快活・活発・元気いっぱい」が花言葉である「菜の花」が、被災地の方々に励まし、日本に元気を与え、黄色い可憐な花が咲き誇る頃、少しでも復興が進んでいることを切に願うとしている。

妹都市交流など都市間交流を活用して、両国民がしっかりと手を結び成功させたいと呼び掛けた。

また、パネルディスカッションでは、東京大学の月尾嘉男名誉教授がコーディネーターを務め、観光庁の又野已知次長、東北観光推進機構の高橋宏明会長、(社)日本観光振興協会の松山龍二副会長、(株)ANA総合研究所の浜田健一郎代表取締役社長、郵船クルーズ(株)の今崎慎司代表取締役社長が討議を行った。

最後に、(社)日本旅行業協会の金井耿会長より決議文を提案し、満場致で採択された。

なお、二階会長の基調講演の内容については、次号掲載を予定している。

留学サービスの新認証制度

(社)留学サービス審査機構が発足 消費者庁

「留学あつせんサービス」に関する新たな自主ルールが作成され、そのルールの第三者認証機関として(社)留学サービス審査機構が発足した。

これは、関連する事業者団体及び消費者団体による検討を踏まえたもので、いわゆる「留学あつせんサービス」に関しては、依然として、多岐にわたる消費者トラブルが各地の消費生活センター等に寄せられている(平成21年度:445件、22年度:517件、23年度11月まで:178件)。また、近年の留学あつせん業者の倒産の際にも、消費者問題として大きく取り上げられてきた。

これら3団体では、これまでの議論を踏まえ、今般、消費者が適正な事業者を選択できるよう、新たな自主ルールを作成し、また、第三者によるチェック機能の必要性から、そのルールへの適合性の第三者認証を行う機関として同審査機構が設立された。

■本件に関する問合せ先

(社)留学サービス審査機構 (J-CROSS)

URL <http://www.jcross.or.jp>

TEL 03-5227-5022

消費者庁 消費者政策課

TEL 03-3507-9188



J-CROSS認証マーク

東海地方協議会



東海地方協議会支部長会議

東海地方協議会（寺井二俊議長）では、平成23年11月8日（火）愛知県支部が事務局を置く名古屋国鉄会館において、岐阜・静岡・愛知三重の東海4県の支部長及び事務局長が参集し、本部から加藤副会長の臨席のもと、東海地方協議会支部長会議を開催しました。

県支部長、総務財務委員会・勝又静岡県支部長）がなされました。協議事項では、本年2月28日（火）静岡市で実施される旅行業務取扱管理者資格者研修について話し合われました。また、寺井議長より韓国麗水世界博覧会の事前現地研修を当協議会として実施したい旨の提案がなされ、協議の結果、日程と研修予算を決め、各支部で参加者を募ることとされました。最後に本部常務理事会への提案事項を検討し閉会となりました。

会議終了後、引き続き研修講師勉強会が開催されました。当協議会では研修講師7名で年3回の管理者研修・旅程管理研修資格者研修の講義を行っておりですが、講師の担当講義科目に偏りが出始めていることから、一人の講師が2科目以上を受け持てるよう講義ポイントに関する勉強会を行うとともに、この改善策について協議が行われました。

東海地方協議会支部長会議
研修講師勉強会を開催

近畿地方協議会



二階会長による挨拶（支援会議）

で、和歌山・奈良・三重の紀伊半島各地域は広範囲に渡り大きな被害を受け、現在にはほぼ復旧しつつあるものの、未だに地元観光産業の客足回復が鈍いことから、二階会長の声掛けで、正確な情報の発信と風評被害を払拭するため

近畿地方協議会（中川安之議長）では、平成23年10月19日（水）に和歌山県・奈良県・三重県支援会議を、翌20日（木）に当協議会と（株）

全旅による合同会議をそれぞれ開催しました。

両会議は、平成23年9月に発生した台風12号の影響

に開催されたものです。19日の支援会議では、いち早く復旧した和歌山県田辺市の川湯温泉・富士屋において、本部事務局から二階会長、加藤副会長が出席し、近畿東海地方協議会所属の各支部の役員、（株）全旅の本社及び近畿各支店の所長が参集のもと、来賓として、観光庁の志村観光地域振興部長、和歌山県の下副知事、田辺市の真砂市長のほか、地元自治体、交通機関、観光関連団体等の幹部43名のご臨席を得て開催され、復旧



那智の滝を視察

台風12号の風評被害払拭のため
和歌山県・奈良県・三重県支援会議
（株）全旅との合同会議を開催

状況の報告、風評被害対策の徹底、今後の観光復興のための行動方針等が確認されました。

翌20日には、熊野古道へのアクセスが回復した「那智の滝」を視察後、那智勝浦町のホテル浦島で「きんきはひとつ」を合言葉に、当協議会と（株）全旅による合同会議が開催されました。合同会議では、紀伊半島地域への送客支援策を主な議題として、支援ツアーの実施や元氣メッセ・ジボスターの制作等について協議がなされました。

〈自治体・観光団体による旅行会社への助成金等情報〉

各助成事業とも予算限度額に達し次第終了しますのでご注意ください。なお、対象要件や助成内容等の詳細は、各ホームページをご参照のうえ、旅行実施前に問合先までご確認をお願いします。

■ 大分県緊急対策団体旅行誘致助成事業

▲事業主体：大分県・各市町村。▲対象：「日曜～木曜日」（祝前日・年末年始は対象外）に「県内対象市町村」で1泊以上する「貸切バス」を利用した「1団体20人以上」の「受注型企画旅行」または「手配旅行」。ANTAまたはJATA会員であること。（ただし、国・自治体等の実施会議・研修、学校行事・修学旅行等、宗教・政治活動、訪日外国人旅行は対象外）▲助成内容：20～29人2万円、30人以上3万円。（料金が発生しない宿泊客、（例）乳幼児等）を含めない）▲提出書類：[実施後]申請書（指定様式）、宿泊証明書（指定様式）▲実施期間：平成24年2月29日（水）まで。（一部自治体は事業実施期間が異なる）

●問合先／大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 TEL:0977-22-0401（右記12地域：大分県、別府市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、国東市、姫島村、日出町、九重町）。中津耶馬溪観光協会（中津市） TEL:0979-64-6565。豊後高田市観光協会（豊後高田市） TEL:0978-22-3100。杵築市観光協会（杵築市） TEL:0978-63-0100。宇佐市観光協会（宇佐市） TEL:0978-37-0202（社）ツーリズムおおいた URL <http://www.visit-oita.jp>（本事業掲載有）

■ 別府八湯集中誘客キャンペーン

▲事業主体：別府市旅館ホテル組合連合会。▲対象：別府市内の宿泊施設を利用とし、他の主な要件は、上記の大分県助成事業とほぼ同様。なお、募集型企画旅行は同連合会が認めた場合可。主な要件は1泊2食・1泊朝食の選択企画とし、「がんばろう!日本」「別府宿屋組合100周年記念」の文言をパンフレット等に掲載。市内飲食業関係への配慮必要。▲助成内容：20名以上で1人1000円の補助。▲提出書類：[実施後]申請書（指定様式）、宿泊証明書（指定様式）、日程表・料金表など。▲実施期間：平成24年2月29日（水）まで。▲備考：別府連合会と県助成事業の二重申請可。例：1バス40名 連合会4万円+県3万円=7万円。（ただし、募集型企画旅行は県不可）

●問合先／別府市旅館組合連合会 TEL:0977-22-0401 URL <http://www.coara.or.jp/~ryokan/>（本事業掲載有）

■ 和歌山県・旅行商品造成経費助成事業（旅行会社による現地下見助成）

▲事業主体：（社）和歌山県観光連盟。▲対象：旅行会社の旅行商品造成等の担当者。1営業所あたり1回2名まで。宿泊を伴う場合は県内宿泊施設に宿泊。下見終了後、本県への旅行商品を造成すること。（造成できない場合は理由を報告）▲対象経費：①発地から現地までの交通費実費、②宿泊費実費、③県内観光施設視察費、④語り部費用。▲助成額：金額内での視察実費1人あたり、首都圏5万円以内、中京圏4万円以内、近畿圏3万円以内、中国圏4万円以内、九州圏5万円以内。その他地域は観光連盟が認めた額。▲提出書類：[終了後]報告書（指定様式）、請求書（指定様式）。

●問合先／（社）和歌山県観光連盟 TEL:073-422-4631 URL <http://www.wakayama-kanko.or.jp>（本事業掲載有）

北海道支部

研修旅行「地旅」摩周湖星紀行」と
知床五湖高架木道」を実施

北海道支部（和田雅夫支部長）では、（株）全旅主催の「第3回地旅大賞」にもエントリーしている「摩周湖星紀行」（株）ツーリズムが旅行企画・実施」と、昨年5月に開設した知床五湖高架木道の視察を組み入れた研修旅行を、昨年10月13日（木）～15日（土）の3日間の行程で参加会員18名のもと実施しました。

秋晴れのなか、出発場所の札幌駅北口に集合し、企画委員から飲物の差し入れがあり参加者全員は大変喜びました。道東自

動車道（平成23年10月29日全線開通）を東へ東へと路帯広へと向かい、帯広市内「ふじもり」で昼食。もちろん全旅クーポンが利用可能。帯広での団体昼食場所に悩んでいた参加会員には良き情報源となりました。足寄への道中に、十勝の特産品「豆」を使つた有名な甘納豆のお店があるとの企画委員の情報で、急遽「岡女堂」に寄り道をしました。工場直営の店内には、十勝最高品質の豆で作られた風味豊かな甘納豆がなんと40種類以上。オリジ

ナル甘納豆を「うまい、うまい」と試食にあずかりました。岡女堂は1855年創業の伝統を誇り、現在は鶴雅グループ。続いて足寄町が生んだ歌手・松山千春ギャラリのある「道の駅あしよる銀河ホール21」を見学後、阿寒横断道路へ。夕焼けのダイヤモンド雄阿寒岳の絶景に全員から「うわゝ素晴らしい！」の感嘆の声が上がりました。

宿泊地川湯温泉へ着く頃にはとつぷりと日も暮れており、夕食後、ホテルを午後8時半に出発。メインのひとつ地旅商品の「摩周湖星紀行」に参加しました。この地旅商品は、当支部会員であるツーリズムでしかがの人気企画商品であり、多く観光客が訪れてい

ます。この日は、霧もなく美しい月夜、満天の星空の下で、同社の白石悠浩社長の名調子でわかりやすい星座や広大な宇宙の解説を楽しく聞くことができました。白石社長はJAXA（日本宇宙航空研究開発機構）認定の宇宙教育リーダーです。1日目に宿泊した「名湯の森ホテルきたふくろう」は、原生林を眺めながらの森の香りと硫黄の香る木風呂と岩造りの露天風呂を備え、源泉100%の温泉を満喫出来るリゾートホテルです。

2日目、摩周湖の伏流水エメラルドグリーンの美しい神の子池を見学、初めて訪れた会員も多く、またもや急遽摩周湖の裏摩周湖展望台へ寄り道。鏡のような湖面には摩周岳が映し出され「同「来て良かった」の声が上がりました。知床半島に入り「オンネツ川」の橋上からはサケの大群がびよんびよん飛び跳ねる姿が見られ実に圧巻でした。オシシコシンの滝を経由しいよいよ知床五湖に向かいました。昨年5月に開設した「知床五湖高架木道」（全長800m・往復1.6km）を実際に約45分歩いて体験。高架木道から見る紅葉の五湖と知床連山は実に美しい風景で、エゾシカとも至近距離、知床峠展望台からは北方領土の国後島を見渡すことができました。昼食は羅臼で有名な食事処「知床食堂」でホッケ定食を堪能。一同、出された巨大なホッケの開きに「どひゃー」「旨い、うまい」と完食。さすが羅臼の名産です。開陽台は、山田洋次監督の映画「家族」のロケ地でもあり、展望台からはぐるり360度の絶景が見渡せ、牧草地や森がどこまでも広がり地



知床五湖の高架木道にて

平線が丸い！この日の宿は「ユニー阿寒ホテルシヤングリラ」で、雄阿寒岳と阿寒湖の雄大な自然を眺めながらの展望露天風呂、8階まで吹き抜けのアトリウムロビーに天井には瞬く星空と、素晴らしいホテルでした。

最終日、十勝ワインで有名な池田町のワイン城へ立ち寄り、こ



滋賀県支部

不正薬物「運び屋」防止対策
滋賀県支部が県警に協力

滋賀県支部（中川安之支部長）では、滋賀県警による不正薬物「運び屋」防止対策への協力依頼を受け、所属会員56社により旅行者に注意喚起チラシの配布を行いました。

当支部及び支部会員による協力活動の様子は、NHK大津放送局、BBCびわ湖放送の取材を受け、11月2日（水）夕刻のテレビニュースで放映されるとともに、翌3日（木）の読売新聞地域版や中日新聞の記事として報道されました。

この活動は、平成23年7・8月



NHK ニュースで報道された映像

号で既報のとおり、旅行者が国内や海外旅行先で犯罪組織等から巧妙な手口や報酬等で誘い込まれ、密輸入等の「運び屋」として検挙されるケースが多発していることから、昨年5月に、警察庁薬物銃器対策課より全旅協本部に対して防止対策の実施について協力要請があり、全国の警察本部に対策強化を推進したものです。

なお、11月10日（木）、同庁薬物銃器対策課が当協会本部に来局し、本件活動に対して、お礼の挨拶がありました。

神奈川県・横浜中華街

元国家主席専属料理人を務めた王永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、
豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」を特別価格6,300円で提供

中国元国家主席・江沢民氏専属料理人を務めた王 永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、ご提供する高級食材をふんだんに使用した創業5周年記念コース。高級フカヒレや伊勢海老、松茸、アワビなどが楽しめる豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」全11品を特別価格6,300円でご提供お伝えしたい美味しさが此処にあります。

「施設内容」 全館200席、エレベーター完備 各種個室完備 大小宴会対応可能、〈蘇州小道〉が一望できるウッドデッキは大人気！

「お料理」 ★フカヒレ&黒トリユフ美肌コース★全11



総料理長王永祥シェフは中国元国家主席・江沢民氏の専属料理人としても勤務！



大切な人と過ごすひとときを！



豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」はフカヒレ姿煮他、高級食材盛り沢山！



廣翔記 新館は巨大なフカヒレの看板が目印！



ウッドデッキの席から蘇州小道の風景を一望！

第86回

適正な旅行広告作成のために 富田 英毅

早期申込割引



富田 英毅（とみた ひでき）

昭和42年（株）日本旅行入社。営業部門を経て、法務関係業務に従事。その間、JATA広告等適正化部会部会長を歴任。旅行業公正取引協議会 元事務局次長。兵庫県姫路市出身。

新聞広告等で募集型企画旅行について、発売開始日や広告掲載日から一定期間内に申込をした旅行者の旅行代金を割引する（値引する）旨の表示を見受けます。

【表示例】

①旅行代金 125,000円

1月中にお申込の方、旅行代金を1万円割引きます。

②旅行代金 28,800円

本日から1ヶ月以内にお申込の方、旅行代金を3千円割引きます。

いわゆるアーリーバード（早起きは三文の得）と言われるもので、旅行者においては、旅行の申込を促して、旅行の催行を早く確定するために行われるものです。添乗員が同行する旅行で、最少催行人員が比較的多い旅行においてよく実施されているようです。

“このような割引について、注意すべきことは何か。”という問い合わせがあります。回答としては、“当該旅行が実際に広く販売されているものである場合を除き、参加する旅行者の過半数の旅行者が、割引を受けることができるような割引適用期間を設定しないこと。”ということになります。当該旅行が実際に広く販売されているものであれば、割引前の旅行代金の正当性は確保されていますが、この割引方法による販売のために造成した旅行で実際に広く販売されていないもので、過半数の人が割引を受けることができるような場合は、割引後の旅行代金が正当な旅行代金であって、割引前の旅行代金の正当性が確保できなくなるおそれが出てくるためです。

この割引方法による販売のために造成した旅行での割引適用期間の設定に当っては、旅行の発売開始日や広告掲載日と旅行開始日までの期間がそれぞれのケースで異なるので、割引適用期間を画一的に1ヶ月とか2ヶ月ということはできませんが、当該旅行者においては、過去の同種の旅行の予約状況はある程度把握できているはずですから、それに基づいて過半数の旅行者が割引を受けることのないような期日を定めればよいと思います。割引額については、制限がある訳ではありませんが、旅行代金の1割程度というのが一般的です。

あと一つ注意したいことは、仮に、割引する期間が過ぎても、旅行者が予定した人員数の申込がなかった場合であっても、その期間を延長しないことです。割引をする期間を延長することは、旅行者には何の不利益もないことから問題ないように思えますが、期間内に申込をした旅行者にとっては、何も急いで申込をする必要がなかったのではないかと不満が残ります。また割引をする期間を延長することは、割引後の旅行代金が正当な旅行代金でないかという疑念を旅行者に抱かせます。これは旅行開始前に発生する問題であり、旅行中もその不満や疑念は尾を引きます。結

果、旅行中に発生した些細な問題が大きなトラブルになることがあるからです。

早期申込割引に関連して次のような質問があります。一つは、“割引した金額の総額が当該旅行の総販売予定額の2%以下でないと問題になるかというものです。この質問の趣旨は、そもそも割引は、景品の提供に当たらないが、籤を引かせる等の懸賞の方法で割引する相手方を特定したり割引する額を決める場合、当該割引は景品の提供になり、その最高額や総額に制限があるのではないかということと思いますが、早期申込割引は、偶然性を利用した懸賞の方法に当たらないのです。旅行者が設定した期間内に申込をすれば、必ず割引の利益を受けることができるからです。

二つ目は、割引旅行代金で旅行契約を締結した旅行者が、旅行契約を解除した場合、取消料の算出に当って基準となる旅行代金は、割引前の旅行代金か割引後の旅行代金かというものです。左の【表示例】の①の旅行について旅行契約を締結した旅行者とは、115,000円が契約上の旅行代金になるので、当然のこととして取消料の対象となる旅行代金は、割引後の旅行代金になります。旅程保証制度の変更補償金の対象となる旅行代金も割引後の旅行代金です。結果、旅行者から収受する取消料は、割引をしない場合より少額になり、旅行者が旅行者に支払う変更補償金も割引をしない場合より少額になります。

三つ目は、一定期間内に申込をした人に旅行代金の割引に代えて、何か旅行用品等を提供する場合、注意すべきことは何かというものです。一つ目の質問のところで説明しましたように、早期申込をした旅行者に旅行用品等の景品を提供することは、懸賞の方法により提供するものでなく、総付景品になります。総付景品の場合、提供する旅行用品等の額が旅行代金の20%以内であれば問題ありません。総付景品の場合は、提供する景品の総額に制限はありません。最高額だけに制限があるのです。なお、旅行用品等の景品の価額の算定に当っては、市価（旅行者が通常入手する価格）を基準とします。従って、旅行者が景品を大量に仕入れた結果、通常より安く入手することができても、その価格を景品の価額とすることはできません。

昔、ある大手旅行会社の社長さんが“販売高利益率（当期純利益に対する売上高の割合）を少なくとも1%以上にしたい。”と言われたのを覚えています。利益率が低いのは、ある程度旅行業の宿命かも知れませんが、安易な割引が旅行業の低い利益率の原因の一つになっていることも事実です。決して早期申込割引を否定するものではありませんが、早期申込割引における10%の割引は、収益面から見れば未だ残る部分があるかもしれませんが、利益面から見れば、完全にマイナスになるかもしれないことを認識しておく必要があると考えます。



「地旅博覧会 in やまぐち」パンフレット表紙

楽しんで頂けるような地旅を造成し、（社）山口県観光連盟の「おいでませ山口たび倶楽部」ホームページに追加掲載されていく予定です。また、地旅博覧会期間中には、このホームページに掲載されている地旅に参加された方を対象として、抽選でペア宿泊券をプレゼントする企画も用意するなど、本県を楽しんでいただく準備をしております。「地旅博覧会」開催に先駆け、昨年11月に実施された「やまぐちの地旅」モニターツアーでは、多くの参加者からとても楽しく思い出深い体験になったと

の感想が寄せられ、「やまぐちの地旅」は少しずつ盛り上がってきております。山口県支部では「地旅博覧会」の成功に向けて精一杯頑張ります。皆様方におかれても、「やまぐちの地旅」流通促進にお力添えをいただき、また、この機会に奮ってご参加いただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。なお、地旅博覧会の開催にあたり、昨年10月、（株）全旅の池田社長がご来県くださり、成功に向けて激励の言葉をいただきましたことを、改めて御礼申し上げます。

山口県支部（武下孝司支部長）では、平成24年3月～9月に「地旅博覧会 in やまぐち」を（株）全旅の後援を得て実施します。この地旅博覧会は同年3月～8月に（社）山口県観光連盟が主体となつて実施する「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」に合わせて企画されたもので、（社）山口県観

光連盟との共同により県内各地の地旅を集めたパンフレットも作成しました。「地旅博覧会 in やまぐち」は、これまで「地旅づくり」で生まれた本県ならではの素材を生かした旅行商品造成販売し、滞在時間の延長や「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」期間中の誘客拡大を図

るとともに、地旅商品の開発・販売の取組成果を継続していくことにより、地域主体の「地旅づくり」の定着化を図っていくことを目的としています。パンフレットには、35コースが紹介され、例えば、毛利氏に関する著書を発表するなど、毛利氏研究家といえる案内人の石川和朋先生と山口市内の毛利氏ゆかりの地を巡る「歴史探訪ツアー」や、県内最古の温泉と言われている長門湯本温泉に泊まり600年の歴史をもつ大寧寺での坐禅と、ろくろを使つての萩焼



毛利歴史探訪モニターツアーの様子

「地旅博覧会 in やまぐち」
平成24年3月～9月に展開

主要旅行業者の旅行取扱状況速報 (平成23年9・10月分)

■平成23年9月分

- 海外旅行は、対前年同月比で4.0%増加となった(2ヶ月連続増)。なお、一部の旅行会社によると円高傾向が大きく作用し、近場の台湾や韓国などアジア方面が堅調であり、また遠方の欧州方面も回復基調にあるとのこと。
- 外国人旅行は、対前年同月比で29.0%減少した(7ヶ月連続減)。一部の旅行会社によると依然として福島原子力発電所事故の影響がその要因となっているとのこと。
- 国内旅行は、全国ベースでは回復基調にあり、対前年同月比で1.6%増加となった(2ヶ月連続増)。

■平成23年10月分

- 海外旅行は、対前年同月比で4.7%増加となった(3ヶ月連続増)。なお、一部の旅行会社によると円高傾向が大きく作用し、台湾や韓国などのアジア方面や、欧州方面を中心に堅調に推移しているとのこと。
- 外国人旅行は、対前年同月比で20.8%減少となった(8ヶ月連続減)が、減少幅は縮小している。一部の旅行会社によると依然として福島原子力発電所事故の影響がその要因となっているとのこと。
- 国内旅行は、全国ベースでは回復基調にあり、対前年同月比で0.5%増加となった(3ヶ月連続増)。

【観光庁調査 主要58社による旅行業者の旅行取扱状況速報より】



豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」はフカヒレ姿煮他、高級食材盛り沢山!



総料理長王永祥シェフは中国元国家主席・江沢民氏の専属料理人としても勤務!



関内館VIPルームも是非ご利用下さい



外観



2階の中広間5名様～最大28名様までご利用可能です

神奈川県・中区

元国家主席専属料理人を務めた王永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」を特別価格6,300円でご提供

フカヒレ専門店 廣翔記 関内館

中国元国家主席・江沢民氏専属料理人を務めた王永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、ご提供する高級食材をふんだんに使用した創業5周年記念コース。高級フカヒレや伊勢海老、松茸、アワビなどが楽しめる豪華「フカヒレ&黒トリユフ美肌コース」全11品を特別価格6,300円でご提供お伝えしたい美味しさが此処にあります。

【施設内容】全館260席、エレベーター完備、各種個室完備 大小宴会対応可能。
【お料理】★フカヒレ&黒トリユフ美肌コース★全11品★6,300円(お一人様税込・2名様より)★1人1枚約80g 姿煮付。内容1、フカヒレ刺身・蜂蜜炙焼の六種前菜盛り合わせ 2、伊勢海老のタイ風チリソース 3、特製フカヒレ姿煮(人1枚(約80g)) 4、松茸と和牛炒め 5、鮑と銀杏・長芋のXO醬炒め 6、海老シューマイ 7、北京ダック 8、フカヒレ小籠包 9、タラバ蟹入りフカヒレとろみスープ 10、黒トリユフの炙焼炒飯・土鍋仕立て 11、コナツムイス燕の巣ドロップ
■営業時間 月曜～金曜日 11時～15時 17時～22時 30分 L O 22時 土・日祝祭日 11時～22時 30分 L O 22時 ※12月31日と1月1日は休館させていただきます
1月2日より通常営業となります
■交通のご案内 横浜市営地下鉄「関内駅」3番出口徒歩30秒 JR根岸線「関内駅」北口徒歩2分
■住所 〒231-0014 横浜市中区常盤町3-24 廣翔記ビル
TEL 0120(660)168
FAX 045(680)5818
WEB <http://koushouki.jp>

第10回 COLUMN 添乗からのメッセージ

添乗と宗教のお国事情

庄司 正昭
(しょうじ まさあき)



国士舘大学 21世紀アジア学部教員。旅行業者・添乗員派遣会社等に勤務。添乗回数は海外国内を合わせ400回を超える。日本国際観光学会会員。

平泉、日光、箱根、出雲、厳島、高千穂…今年も初詣のシーズンを迎え、添乗員にとっては忙しい時期になりました。とにかく大勢の人でごったがえしていて、お客様がはぐれないようにする為に細心の注意が必要となり、初詣は新年早々添乗員のひとつの試練?ともなります。

平成25年の式年遷宮を控え全国からの参拝者で賑わう伊勢神宮は、添乗でもなじみの深い場所ですが、この「伊勢参り」が日本の旅行業の始まりであるという説があります。

それまでは皇室、貴族、武家などが中心であったものが、江戸時代に入り庶民の参拝者が増え、集団による伊勢参りが行われるようになりました。1905年(明治38年)滋賀県で食堂を営んでいた南進助が高野山や伊勢神宮の参拝団などの団体旅行の幹旋をしたことが始まりだとか…

こんなことを考えていると「今この添乗という仕事ができるのも伊勢の神様のおかげかな…?」と思ったりもします。この伊勢では伊勢うどん、てこね寿司、赤福などの食事も旅の楽しみのひとつですが、お弁当の中にはテレビ、雑誌等で紹介された新しいユニークなタイプのものも増えてきました。リアルな牛の顔をしたお弁当箱で蓋を開ければメロディーが流れる…といった、味覚以外で楽しめるものもあります。

さて、添乗中に話題にしない方が良いといわれるものに「政治の話」「スポーツのひいきチームの話」「宗教の話」などがありますが、添乗するにあたっては、お国事情やある程度様々な宗教の知識が必要となる時もあります。私が経験したいくつかの例をあげてみます。

- ①豚肉編
イスラム教の方がヨーロッパ周遊ツアーに申し込んでくださった時、「メインディッシュが豚肉の時は他のメニューに変えてほしい。これは宗教上の理由なので」と強くお願いされました。この時は可能な範囲でこの方のメニューを変更し、変更したことにより追加料金が発生した時はお客様ご自身の負担とさせていただきます。他のお客様とのバランスもあり、グループとしての対応に苦労しました。
- ②タクシー編
インドネシアツアーでのフリータイムの後、参加の女性から「タクシーでとても怖い思いをした!」といわれました。内容を聞いてみると、「タクシーを利用し目的地に到着し料金を払おうとお金を差し出したら、ドライバーが急に怒り出して手を叩かれた」とのことでした。インドネシアは主にイスラム教の国で、人に物を渡す時は右手で渡す、左手は不浄な手とされています。この女性は左利きでした。
- ③マクドナルド編
インド・デリーのマクドナルドに行った時、ハンバーガーを一口かじったお客様がひと言…「これってハンバーガー?」インドは宗教上の理由からベジタリアンが多いので、肉を使わずポテトや豆でつくった「マック・ベジバーガー」を販売しています。お客様が誤って注文したのは、この「マック・ベジバーガー」でした。
- ④お医者さん編
エジプトで日本帰国3日前に、1人参加のお客様の具合が悪くなり、詳しく聞いてみると下血しているということでした。症状が深刻な為、添乗員としても軽率

終わりに前号のコラムの海外旅行保険についてご質問をいただきましたので、参考にこの場を借りてお答えさせていただきます。

- ①「海外旅行保険に加入しなくても海外滞在中に支払った医療費は、日本帰国後払い戻されるのでは?」
「海外療養費制度」というものがあり、健康保険や国民健康保険の加入者が海外滞在中に支払った医療費はその一部が払い戻されることがあります。民間の保険会社から保険金が給付された場合でも請求することができます。申請に必要な書類は診療内容明細書と領収明細書になります。
- ②「海外旅行保険とクレジットカード付帯保険の両方に入っていて事故等にあった場合は保険金はどうなるのか?」
基本的には死亡保険金については、海外旅行保険、クレジットカード付帯保険それぞれから保険金が支払われます。傷害、疾病治療費用、携行品など実費が支払われる保険金については、実際の損害額を海外旅行保険とクレジットカード付帯保険が按分して補償するということになります。

正確には契約している保険により補償内容は異なりますので自分が加入している保険内容の確認が必要です。



連載寄稿 第5回

誰もが安心旅行実現のために



バリアフリー旅行ネットワーク

平森 良典

バリアフリー旅行ネットワーク初代会長
(株)昭和観光社 代表取締役
バリアフリー旅行30年の実績 広島県出身

■発地と着地を結ぶ地旅連携 ～地旅ならではの最新で正確なバリアフリー情報～

広島県 (株)昭和観光社 平森良典

【はじめに】

私が常々感じていることは、旅先での正確なバリアフリー情報です。それは、従業員の理解、下車地のトイレ、移動導線、交通機関、人的サポート、貸出備品、宿泊先の客室、大浴場、会食場、食材などなど、多岐にわたります。

安心旅行を提供する私たちにとって、最新で正確な現地のバリアフリー情報を旅行者に提供する役割があります。

発地側は、旅行者のトータルコーディネートをして、着地側との連携。

着地側は、地元のバリアフリー情報を提供して、地旅効果をもたらす。

地旅素材は、話題性だけでなく、現実的な効果を実証しなければならないですね。

更に、需要が拡大する「バリアフリー旅行」。地旅との関連性と魅力についてお話ししましょう。

【発地旅行】旅行者と継続性をもって関わり共に喜びを分かち合う

- ステップ1. 旅行当事者、ご家族等から、旅の夢を語り合い、不安材料を安心材料に変えるための、トータルコーディネートが初めの一步。
- ステップ2. 現地情報の収集。着地先の観光業者、福祉関連団体へ、最新のバリアフリー情報、人的サポート等を、意見交換。
- ステップ3. ベースになっている、旅行企画画面づくりによる、旅の設計図を作成。
- ステップ4. 旅行当日。着地先との連携で、実現できた喜びが外出意欲につながります。
- ステップ5. 旅行後、次の旅の夢を語り合うことで、旅行者と継続性のある、旅のケアマネジメントをする関係になります。

これは、私たちが旅行者の生き様に関わることで、旅への諦めから、希望へ。

そして心と体のリハビリへ。

それは、双方が「究極の人生観をも変える」ことになるでしょう。

全国に関わる方が増えることを願っています。

【着地旅行】地元地域の方々と共に将来を育む喜び

地元旅行業者だからこそ、観光グルメ素材、正確なバリアフリー情報を掌握しています。そのようなプラチナ情報を、旅行者と旅行業者への情報発信が、連携につながります。

着地側として、地域独自のおもてなしをする目的は

- ① 地域文化の伝承と活性化
- ② 地域の人々が、人としてあるべき姿を創造する未来のため、
- ③ 地域の方々との意見交換

<事例> モニターツアー“心と体のヘルスツアー・イン蒲刈島” (株)昭和観光社 第15回ツアーオブザイヤー 審査員特別賞受賞

- 内容：蒲刈島の白砂海岸をリハビリ散歩 食文化伝承の一品を味わう「えげす豆腐」体験観光 地域の方々との意見交換 食材制限のある方への食材研修 高齢者疑似体験等の研修会で理解、声かけ接遇のスキルアップ
- 効果：蒲刈島近海のえげす海藻を海洋汚染から守り、食文化を伝承する意識共有 高齢者や障害者認定を受けている方々への思いやりが広まった



えげす豆腐

【地旅連携】バリアフリー旅行は地旅効果をもたらす

先述しましたように、お手伝いを必要とする旅行者の不安材料は、旅の夢を実現できるかどうかですね。着地先の地元旅行業者等は、広範な状況把握が得意であり、双方で緊密な連携が生まれます。

旅行者が、どのような心身状況であっても、旅を楽しもうとする夢を叶えるため、全ての面で環境を整備していく必要があります。

千葉県・船橋市

東京ディズニーランドに最も近い温泉宿

旅館玉川

東京ディズニーランドをはじめ、幕張メッセ、葛西水族館等、観る聞く体験スポット盛りだくさん。

「お部屋」 ゆったりとした間取りと落ち着いた色調の客室には寛いだ雰囲気と快適なやすらぎが溢れています。

「お風呂」 ほんのりと漂う檜の香りが日々の疲れを癒してくれます。

「チェックイン」 15時 チェックアウト／10時

「お料理」 旬ならではの恵の素材を美しく当館自慢のおもてなし料理

●食事処 夕食／御会食場 朝食／御会食場

■料金 1泊2食サ・税込(大人1名)

	平日・休日	休前日
1室3名 1室4名 1室5名 1室2名	9,450	10,500
	10,500	10,500
	10,500	11,550
	11,550	12,600

※小学生は大人料金の70%、幼児は50%
※【特】12/30～1/3、5/3～5/5、8/14～8/16
※1室利用人数2名～5名
※木造1933年築
※総客室数 30室

■交通のご案内…J.R総武線船橋駅南口10分
／京葉高速船橋出口より5分

■住所…〒273-0011
千葉県船橋市湊町2-6-25

TEL 047(431)3234
FAX 047(437)1343

外観

お料理一例

山梨県・石和温泉

五つ星の宿(観光経済新聞社認定)

華やきの章 慶山

広々とした大浴場、岩・檜の大露天風呂が自慢です。また、450畳の大宴会場も一度に1000人まで収容ができる多目的ホールまで併設された総合ホテルです。

■客室数…和93洋20特2和洋室2 総客室数125室

■交通のご案内…J.R石和温泉駅より徒歩5分
車で中央道一宮御坂ICより10分

■住所…〒406-1003
山梨県笛吹市石和町市部822

TEL 055(262)2161
FAX 055(262)4162

WEB http://www.keizan.com/

外観

毎晩開催の「慶山太鼓ショー」

岩大露天風呂「六花仙」

京都市・祇園

古都の風雅を味わえる料亭旅館。

ぎおん畑中

祇園八坂神社前にあり、四季を映した京料理を高級感あふれる個室お座敷でお楽しみいただけます。舞妓・芸妓プランも好評。

「お料理」 京野菜をはじめ旬の食材を使った京料理をお楽しみいただけます。

京料理会席10,000円、

※昼食 京料理会席8,500円、ミニ会席5,000円、

「施設内客」 個室2、20名様、大広間70名様、イステール48名様

「京料理と舞妓の夕べ」 18,000円(フリードリンク付) 18時～20時 祇園町や宮川町の舞妓・芸妓による華やかなディナーショーです。京舞の鑑賞やお座敷遊びの体験など、花街の風情をたっぷり味わっていただけます。

※開催予定日 月・水・金・土曜日

■交通のご案内…J.R京都駅より車で15分、名神高速京都東・京都南ICより20分

■住所…〒605-0074
京都府京都市東山区祇園町南側505八坂神社南門前

TEL 075(541)5315
FAX 075(551)0553

WEB http://www.thehanaka.co.jp

「京料理と舞妓の夕べ」 www.kyoto-maiko.jp

京料理会席

舞妓の夕べ

お座敷

山口県・下関市

テレビや情報誌も注目！手軽なふく料理専門店

ふく専門 やぶれかぶれ

ふく料理以外は取り扱いなし。質・量、価格は安心とくに、自慢は、体によい事を一番に。ボン酢は自家製でバツグンです。

小部屋、中部屋、大部屋を完備。トイレは8か所、どれもウシユレットで安心。掘りタツ式が4室あり、すべて座敷で1人用からOKです。お土産コーナーもあります。当店はふく専門工場(ふく工房)を持った、卸問屋直営なので毎日活(ふく)を処理している、下関屈指の販売会社です。従来のふくフルコースだけでなく、焼いて食べる鉄やきとらふくは、人気最高。

■営業時間…11時～15時 17時～22時(OS21時)

■定休日…無休(但し、年末・年始休み)

■交通のご案内…JR下関駅から徒歩で4～5分
熊本駅より車で70分

■住所…〒750-1001
山口県下関市豊前田町2-12-5 はぎわらビル

TEL 083(234)3711
FAX 083(232)7746

さかなクンも来店

すべてとらふく 6,300円

前菜、刺身、鉄焼、唐揚げ、雑炊 5,250円

平成23年10・11月 正会員入会者

● 平成23年10月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者	登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H23.10.07 H23.10.11	北海道 3-610	Niseko Black(株)	ハーディング・ベンジャミン	H23.07.25 H23.10.11	大阪府 3-2613	(株)バシフィックラベルサプライ(旅ストア)	生橋 俊明
H23.10.14 H23.10.19	北海道 2-611	(社)釧路観光協会	佐藤 悦夫	H23.10.05 H23.10.07	大阪府 2-2615	(株)エムジェイ企画	益田 次朗
H23.09.30 H23.10.07	岩手県 3-211	(有)城山観光	松橋 英樹	H23.10.05 H23.10.06	大阪府 3-2616	(株)ネットマート	川口 雅彦
H23.10.06 H23.10.12	山形県 3-270	あすなる観光	井上 享佳	H23.10.06 H23.10.20	大阪府 2-2617	(株)オーサカ・ゼンリョ	吉村 実
H23.10.06 H23.10.11	福島県 3-336	(株)オールスタートラベル	佐藤 洋一	H23.09.29 H23.10.04	兵庫県 3-672	マルーントラベル(株)	東間 堅史
H23.10.06 H23.10.21	茨城県 2-610	西木観光	西木 優	H23.09.30 H23.10.03	徳島県 2-151	(株)コスモス観光	多田 晃
H23.10.07 H23.10.13	茨城県 3-611	富士観光(株)	岡田 幸男	H23.10.06 H23.10.11	愛媛県 2-183	(株)十季	菅 啓三
H23.10.04 H23.10.12	栃木県 3-675	(株)湯の郷(湯の郷観光)	赤羽 刃一	H23.10.05 H23.10.05	佐賀県 3-72	多久観光バス(株)	田中 敏則
H23.10.03 H23.10.07	千葉県 3-851	ラビットトラベル	鈴木 行夫	H23.09.01 H23.10.11	長崎県 3-156	(株)東海貿易	陣野 慧
H09.07.31 H23.10.11	東京都 3-4268	(有)旅の魔法使い	松田 明美	H23.09.01 H23.10.11	長崎県 3-158	誠光(セイコウトラベル)	布谷 訓康
H23.03.28 H23.10.11	神奈川県 2-975	(株)湘南第一興商	米田 誠輝	H23.10.03 H23.10.11	宮崎県 3-159	(一社)諸塚村観光協会	黒木 重人
H23.09.30 H23.10.04	神奈川県 3-986	(株)あおき旅行舎	青木 孝	H07.09.07 H23.10.11	沖縄県 3-151	(有)レキオツーリスト	瀬名波良彦
H23.07.27 H23.10.11	長野県 3-536	トラベルマルシェ(株)	細田 吉久	H23.09.04 H23.10.11	沖縄県 3-309	沖縄度假旅行不動産(株)	梶原 辰彦
H23.10.25 H23.10.31	長野県 3-537	アクレ旅行(株)	呉 さやか	H23.10.17 H22.04.06	茨城県 3-612※	アウトドア旅行社	柳田 幾春
H23.10.20 H23.10.31	愛知県 3-1324	シンフォニー(株)	雪平 円				

● 平成23年11月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者	登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H23.11.29 H23.11.29	北海道 3-613	ヨウテイインベストメンツピーティワイリミテド	アシュリー ニコルズ	H23.11.01 H23.11.01	東京都 3-6487	(株)アイビーエス	奥谷 恭一
H23.11.29 H23.11.30	北海道 2-614	三洋自動車興業(株)	川上 範恭	H23.11.01 H23.11.07	和歌山県 2-287	熊交商事(株)	吉川 晴雄
H23.11.24 H23.11.29	山形県 3-271	(株)旅のキャンバス	五十嵐健夫	H23.11.11 H23.11.21	沖縄県 2-310	琉球トラベル(株)	友利 盛勇

「登録番号」の※印は当協会制度による「会員資格継続」を示す。「名称又は商号」の(一社)は一般社団法人の略称を示す。

平成23年10・11月 正会員退会者

● 平成23年10月分

登録番号	名称又は商号	代表者	登録番号	名称又は商号	代表者
北海道 3-508	(株)北海道ツーリズム研究所	見田 義之	東京都 3-6108	(株)SAKURA TOURS	風間 俊久
福島県 2-302	(株)オールスタートラベル	佐藤 洋一	岐阜県 3-152	(有)トラベルシーン旅行家	鷲見 政樹
群馬県 3-446	(有)ニッケイ・ツーリズム	安藤美恵子	静岡県 3-373	(有)千代田全日観光	守屋 孝
埼玉県 3-888	ホビー・ツアーズ	山下 睦男	大阪府 3-2389	(株)シーランドエアー	金崎 健二
東京都 2-5821	(株)RIGHTS	川口 博輝	福岡県 3-229	柳城観光(株)	山崎 俊一

● 平成23年11月分

登録番号	名称又は商号	代表者	登録番号	名称又は商号	代表者
茨城県 2-338	(有)ワールドジャイアンツ(茨城旅行センター)	天海 輝男	神奈川県 3-601	(株)新日本旅行協会	中澤 淳
埼玉県 2-936	羽田建設(株)(旅行事業部 Aウイング)	小野寺七雄	愛知県 3-1021	(有)ゆうゆう旅行	伊藤 博則
埼玉県 3-951	東武天笠観光社	天笠 三郎	滋賀県 2-115	(株)マルセンツーリスト	桂田 全啓
東京都 2-3281	グランシャリオツアーズ(株)	中井 徹治	大阪府 3-2394	(株)京阪神トラベル	小西 香織

地旅とバリアフリー旅行の関連で重要なことは、

- ① 旅行者の目線に立ち、先進事例を活かすこと。
- ② 旅行者や観光施設を点と点を線で結び、面にして立体化できる魅力的な観光業者を目指し、双方の緊密な連携を図ること。
- ③ 全国その他団体との連携を広げていくこと。

本会は、我が国が推進している、ユニバーサルツーリズム推進事業の一翼として、地旅連携で欠かせないバリアフリー情報をホームページで公開しています。

- ① 着地型真心安心モデルコースでバリアフリー情報発信
- ② 全国110会員を紹介 旅行者 宿泊施設 運輸機関 教育福祉関連
- ③ 研修会や意見交換会開催 モニターツアー実施(一部地域)
- ④ 旅に役立つ、他団体の情報やバリアフリー情報
- ⑤ 会員相互の情報交流 講演活動他
- ⑥ 旅行者の声を観光施設へ活かすモニターツアー実施(一部地域)

是非一緒に、誰もが安心して旅行が楽しめるように、ユニバーサルツーリズム推進事業に加わり、安心に繋がる究極のおもてなしサービスを実践しましょう。国民が心輝き、笑顔が溢れる未来のために。



【 バリアフリー旅行ネットワーク 】

入会について <11月30日現在110会員>

- 会員(企業・グループ・団体) 入会金 3,000円 年会費 6,000円
 - サポーター会員(個人) 入会金 1,000円 年会費 無料
- ☆詳しくはホームページ“入会手続き”をご覧ください。

お問い合わせ先
バリアフリー旅行ネットワーク
本部事務局 〒604-8472 京都市中京区西大路太子道西入る
TEL (075) 812-1466 FAX (075) 822-8032
http://www.bari-net.jp/ barifuri-net@world.ocn.ne.jp



意見交換会
(随時全国各地で開催)

これからの事業予定		
月	事業名	開催地
2月	定例総会	未定
	全体意見交換会	
3月	近畿東海ブロック研修会	神戸市内 未定
	中国四国ブロック研修会	

※予定が変更される場合がありますので本部事務局までお問い合わせください

- 意見交換会は随時全国各地で開催
- 旅行者及び会員の「喜びの声」収集中
- ホームページ内「真心安心モデルコース」更新中

愛知県・名古屋市

和食・寿司処 五一

新鮮な魚介類を一流の板前が確かな腕でおもてなし。

名古屋の中心地に位置し、120名様収容の大広間もあります。昼食、宴会に最適で、特に名古屋の味が一度に味わえる名物コースは人気。

「施設内容」120名様収容大広間・パーティールーム・小座敷・テーブル席と全館で350名様収容可能。
「特色」●57年の歴史がある店、名古屋の中心に位置し交通の便が良い。●安心安全を第一に考え、こだわりの水を使用。寿司、鍋物と手作りおとうふが絶品。

【料金】●名古屋名物コース(A)3,980円、手作りおとうふ・刺盛・味噌煮込みきしめん・手羽先唐揚・ジャンボ海老フライ・一口味噌カツ・サラダ・ひつまぶし・天むす・いろいろ。



五一、玄関



1階テーブル席



名古屋名物コース3,980円、コーチン入5,000円



大広間120名様OK



板さんおまかせ会席

●名古屋名物コース(B)5,000円Aコースの味噌煮込みきしめんが名古屋コーチン入りきしめんに変わります。
●板さんおまかせ寿司会席4,800円・7,800円
●名古屋名物ミヨコース2,500円
●寿司+茶碗むし1,500円
〔営業時間〕不定休で予約制です。予約であればいつでもOK(御予算に応じます)。
〔交通のご案内〕名古屋駅から車で20分、名古屋高速東新町インターから5分
■住所…〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄1丁目26-5
TEL 052(262)0051
FAX 052(241)3633
WEB http://www.gotchi.com

全国共通お食事券販売のご案内 (ジェフグルメカード)



～様々な場面にご提案頂けます!～

- ①ご旅行の自由行動時のお食事券として
- ②企業の福利厚生用として(永年勤続表彰)など
- ③謝礼や贈答として(様々な謝礼や贈答など)
- ④キャンペーン賞品として(顧客・法人向けに)

ジェフグルメカードの特徴

- 1 有効期限がない!
- 2 全国3万5000店で利用可能!
- 3 贈答・福利厚生など幅広く使える!

日本全国 **35,000** 店で
ご利用頂けます

■主要加盟店

ファミリーレストラン

パセラ、Deer's、カスト、COCO'S、Jusling、
ファミリーマート、Royal Host、かき屋、和食さと

ファーストフード、テイクアウト、宅配

ケンタッキ、吉野家、でんや、R、Baskin-Robbins、
和食、洋食、焼肉 など

和食、洋食、焼肉 など

木下、安室亭、さばてん、肉三崎、
京橋石、美濃吉、CoCo壱番屋、軒元、大塚

居酒屋

和食、洋食、焼肉 など

日本酒、和食、洋食、焼肉 など

資料請求
ご注文は
こちらまで

株式会社全旅 物品販売課

TEL: 03-5250-2033 FAX: 03-5250-2036



(株)日本旅行の販売システム
《αLine(アルファライン)》の精算が
全旅クーポンで可能となりました!

- ★(株)日本旅行様の赤い風船・日本の宿・旅の宴ま帳等の国内商品、マッハ・ベスト等の海外商品が取扱可能。
- ★(株)日本旅行様への保証金が不要。
- ★(株)日本旅行様へのお支払は全旅クーポンで行いますので、精算は月1回。通常の全旅クーポン代金請求書に計上されます。
- ★会員様での全旅クーポン発券操作が不要。
- 《αLine》で予約確定すると、ANTA-NETで全旅クーポンデータが自動作成されます。
- ★お手続きは簡単。お申込書と委任状をご提出いただくだけです。(会員様と(株)日本旅行様との提携契約を弊社が代理して締結致します。)
- ※別途、初期導入費用:パソコン1台目 10,500円(消費税込) 2台目以降 5,250円/台(消費税込) 利用料:[台数に関係無く]:毎月5,250円(消費税込)が掛かります。
- ※全旅クーポン送客会員様に限ります。また海外商品の取扱いは総合旅行業務取扱管理者選任会社に限ります。



『東京スカイツリー®』団体入場券
全旅クーポンお取扱いのご案内

平成24年5月22日オープン予定の『東京スカイツリー®』の第1展望台団体入場券について、全旅クーポンでのお取扱いが可能となります。

予約は下記WEBアドレスにアクセスいただき、ご案内に従って各クーポン会員様にて行って下さい。

WEB『東京スカイツリー®』団体予約のご案内
<http://www.tokyo-skytree.jp/reservation/>

※団体のみとなります。第2展望台は予約と団体割引の設定がございません。ご来場当日、第1展望台で別途入場券をご購入下さい。

お問合せ先:(株)全旅 クーポン事業部

TEL 03-5250-2088

FAX 03-5250-2085



株式会社全旅 掲示板

全旅協旅行災害補償制度の平成24年4月改定(本部決定)の概要(その2)

(1) 見舞金制度

現行の共済制度が、見舞金制度になります。主な改定点は以下のとおりです。

* 見舞金掛け金 一律30円

見舞金	見舞金が支払となる場合	支払となる金額
1. 旅行者病気死亡見舞金	旅行参加中に病気で死亡した場合	(1)旅行者病気死亡会員見舞金 旅行取扱の会員に対して、10万円(以内)支払われます。ただし、1事故の限度額は100万円になります。 (2)旅行者法定相続人見舞金 被災者の配偶者および1親等の法定相続人1名に対して10万円(以内)支払われます。ただし、1事故100万円限度となります。
2. 添乗員死亡見舞金	添乗員が旅行中に病気・けがで死亡した場合	(1)添乗員死亡会員会社見舞金 旅行取扱の会員に対して、10万円(以内)支払われます。ただし、1事故限度額は100万円になります。 (2)添乗員死亡法定相続人見舞金 被災者の配偶者および1親等の法定相続人1名に対して10万円(以内)支払われます。ただし、1添乗員100万円限度、1事故総額500万円限度となります。
3. 旅行者地震・噴火・津波死亡見舞金	地震・噴火・津波により、災害発生の日を含めて30日以内に死亡または発見されなかった場合	(1)旅行者天災死亡会員見舞金 旅行取扱の会員に対して、被災死亡者1名あたり、10万円(以内)支払われます。 (2)旅行者天災死亡法定相続人見舞金 被災者の配偶者および1親等の法定相続人1名に対して10万円(以内)支払われます。ただし、1被災者100万円限度、1事故総額500万円限度となります。
4. 特別費用見舞金	傷害保険(特別補償金を除く)の支払額が3万円を超えた場合	傷害保険の支払額から3万円を控除した額の10%を見舞金として会員に支払われます。ただし見舞金の支払限度額は、1名1事故あたり10万円(以内)です。また死亡被災者の数が1事故あたり50名以上になった場合の支払い限度額は500万円となります。
5. 携帯品全損見舞金	旅行特別補償保険の携行品損害保険金が147,000円支払われる場合	会員に対して3,000円支払われます。

* 現在の共済制度の概要につきましては全旅協旅行災害補償制度の早見表・手引をご参照ください。

(2) 国内旅行傷害保険

平成24年4月1日以降出発の旅行分より国内旅行傷害保険の「後遺障害」については、支払の対象になりません。*旅行特別補償保険については、「後遺障害」も支払対象になります。

(3) 掛金の変更例

詳細につきましては、全旅協旅行災害補償制度早見表・手引等の資料(平成24年2月中に完成・配布予定)にてご案内させていただきます。

(現行)手配旅行補償制度

	A-1000タイプ	A-2000タイプ	A-3000タイプ	掛金
	掛金	掛金	掛金	掛金
	保険料 共済	保険料 共済	保険料 共済	保険料 共済
日帰A				84
				67 17
日帰B	136	274	409	
	111 25	224 50	334 75	
1泊2日	138	277	414	
	113 25	227 50	339 75	

(現行)企画旅行補償制度

	B-1000タイプ	B-2000タイプ	B-3000タイプ	掛金
	掛金	掛金	掛金	掛金
	保険料 共済	保険料 共済	保険料 共済	保険料 共済
日帰A				143
				121 22
日帰B	195	333	468	
	165 30	278 55	388 80	
1泊2日	203	342	479	
	173 30	287 55	399 80	

(新)手配旅行補償制度

	A-1000タイプ	A-2000タイプ	A-3000タイプ	掛金
	掛金	掛金	掛金	掛金
	保険料 見舞金	保険料 見舞金	保険料 見舞金	保険料 見舞金
日帰A				97
				67 30
日帰B	141	254	366	
	111 30	224 30	336 30	
1泊2日	143	257	371	
	113 30	227 30	341 30	

(新)企画旅行補償制度

	B-1000タイプ	B-2000タイプ	B-3000タイプ	掛金
	掛金	掛金	掛金	掛金
	保険料 見舞金	保険料 見舞金	保険料 見舞金	保険料 見舞金
日帰A				151
				121 30
日帰B	195	308	420	
	165 30	278 30	390 30	
1泊2日	203	317	431	
	173 30	287 30	401 30	

【お問い合わせ先】

社団法人 全国旅行業協会 経営調査部
TEL 03-5401-3600/FAX 03-5401-3661

株式会社 全旅 保険事業部
TEL 03-5250-2002/FAX 03-5250-2010

アジア・ハワイ方面、
プリンスホテル(国内、ハワイ、台湾、クアラルンプール)

西武トラベル

旅のスペシャリストが ご案内します。

パッケージ(募集型企画・販売)

ARROW
アロウツアー

フィリピン、中国、韓国、台湾、マカオ、タヒチ、インド、ハ
ワイなどのパッケージツアーを企画・販売しております。



ユニット手配

全世界の手配を承ります。方面、人数に関係なく電話、
FAX、メールでお問合せください。



国際航空券の取扱い(一例)

フィリピン線=JL、NH、PR(関西発含む)、DL
韓国線=JL、NH、KE、OZ、BX、DL
中国線=JL、NH、MU、CZ、CA、DL ハワイ線=JL
他、台湾線、香港線、マカオ線、インド線、モルディブ線

アジア、ハワイの航空券、ユニット手配、
パッケージツアーのホールセラーです。
特にフィリピン向けを専業として、
すべての航空会社を取り扱っております。
さらに、プリンスホテルの国内・海外の手配も承っております。

国際航空券の予約・発券・ 決済システム(EOT)

日本発着のすべての公示運賃とJL/PR/HXなど、一部航
空会社のIT航空券が、24時間、365日、お手元のパソコン
で予約・発券・決済までできるシステムです。

西武グループ レジャー施設 (国内・海外)

Prince
Hotels & Resorts

ホテル(国内46、海外7)、ゴルフ場(国内25、海外3)、ス
キー場(国内10)。ビジネス、リゾートレジャーなど、お客さ
まのご利用シーンに最適なおもてなしと快適なサービスを
ご提供いたします。



西武トラベルは全旅クーポン受入会社として登録いたしました。

お電話でのお問合せ・ご予約



営業 **03-6743-7185**
予約 **03-3591-6151**
FAX **03-6743-7187**

■営業時間/10:00-18:00(土曜・日曜・祝日を除く)

メールでのお問合せ・ご予約



info@arrowtour.jp または
yoyaku@arrowtour.jp

URL <http://www.arrowtour.jp>

今すぐ
お問合せ

でかける人を、ほほえむ人へ。西武グループ

当選者5名様にクオカードが当たる!

パズルでひと息

タテのカギ

- ① 体温は測れません。
- ② お尻でつくことも。
- ③ 市に一つあります。
- ④ 勝手です。

- ⑤ イカスミのことです。
- ⑥ これが強すぎると単なるわが
ままです。

ヨコのカギ

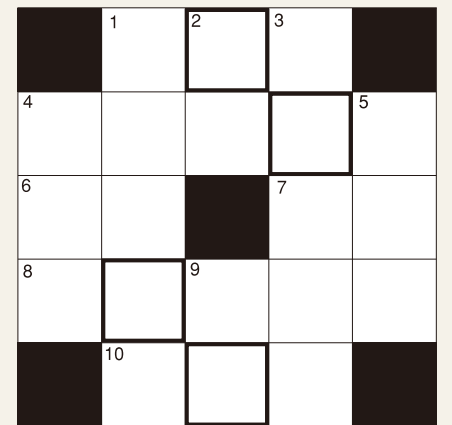
- ① 漬物作りに用います。
- ② ○○○○切り：スリです。
- ③ たまには開けて空気を入れ換え。
- ④ 有罪・陽性…。
- ⑤ 悔しがって…。
- ⑥ 後々のために書き記します。



プレゼント

ハガキに答えと住所・氏名・所属支部・本号の感想等を書いて、お送り
下さい。〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F
全国旅行業協会「パズル」係 正解者の中から抽選で5名の方にクオカ
ード千円分を差し上げます。締め切りは、2月15日。商品の発送をも
って発表にかえさせていただきます。なお、正解は次号に掲載します。

【ヒント】
黒太枠に入る字の順序を考え、答えを見つけてください。
冬にちなんだ言葉です



11・12月号のパズルの答え

ストروب
1 シ 2 モ 3 レ ス
4 ゴ 5 ル 6 イ 7 ニ
8 ツ 9 ト 10 ブ 11 ボ 12 ウ 13 グ
14 タ 15 グ 16 コ 17 ウ



全旅協の動き

12月1日～1月31日

12月1日(木)	苦情対応セミナー(名古屋)
12月1日(木)	旅程管理研修(総合・海外)(大阪)
12月2日(金)	日韓観光振興協議会(韓国)
12月3日(土)	ツアー登山ANTA-JATA合同会議(東京)
12月6日(火)	監査法人監査
12月7日(水)	第6回試験研修実務小委員会
12月9日(金)	第8回指導調査広報委員会
12月12日(月)	第15回経営推進委員会
12月13日(火)	第367回三役会
12月14日(水)	(株)全旅との合同三役会
12月15日(木)	第12・2四半期監事監査
12月16日(金)	第9回総務財務委員会
12月17日(土)	第4回一般社団法人移行特別委員会
12月19日(月)	観光庁・第4回標準旅行業約款見直し検討会(東京)
12月20日(火)	旅行業公正取引協議会理事会(大阪)
12月20日(火)	「観光で復興を」仙台シンポジウム(宮城)
12月20日(火)	(株)全旅・第3回取締役会(東京)
平成24年	
1月12日(木)	第15回苦情弁済委員会
1月16日(月)	監査法人監査
1月17日(火)	第368回三役会
1月20日(金)	(株)全旅との合同三役会
1月24日(火)	常任委員長会議
1月25日(水)	国内観光活性化フォーラム本部実行委員会(群馬)
1月27日(金)	第5回一般社団法人移行特別委員会
1月30日(月)	第220回常務理事会
1月30日(月)	第7回試験研修実務小委員会
1月30日(月)	国交省・第10回バス事業のあり方検討会(東京)

()内は開催地。無記載は全旅協本部事務局

渡航情報(スポット情報)

問い合わせ先

◆外務省領事局

領事サービスセンター
TEL: 03-5501-8162 (直通)
TEL: 03-3580-3311 (代表)
(内線 2903)

◆インターネット/外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>



全旅協〈旅行災害補償制度〉で

**安心をシッカリとかたちに
しています。**



幹事会社／株式会社 損害保険ジャパン



副幹事会社／三井住友海上火災保険株式会社



アリアンツ火災海上保険株式会社



「全旅協旅行災害補償制度」のお問い合わせは、
下記までお願い致します。

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
株式会社 損害保険ジャパン
営業開発第1部第3課
TEL.03(3349)4037